D01035400A

TASCAM
TEAC Professional Division

GT-R1

Portable Guitar/Bass Recorder

取扱説明書

目次

目次

目次

このたびは、 TASCAM GT-R1をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱い方法をご理解いただいた上で、十分に機能を発揮させ末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

主な機能

- SDカードを記録媒体とするギタリスト／ベーシスト向けのポータブルレコーダー。
- 内蔵マイクを使った録音のほかに、ギターやベースあるいは外部オーディオ機器（CDプレーヤーなど）を接続して録音することが可能。
- 録音オーディオファイル形式はMP3（32kbps～320kbps、44.1kHzまたは48kHz)、WAV（16ビットまたは24ビット、44.1kHzまたは48kHz）から選択可能
- オーディオを再生しながら入力信号をミックスして録音することが可能（オーバーダビング録音機能)。
- 内蔵のリズムマシンに合わせて練習したり録音することが可能。
- 特殊再生機能（音程を変えないスロースピード再生、ギターやベース楽器を減衰して再生など）を装備。
- 入力信号、リズムマシンまたは再生信号に内蔵エフェクターを掛けることが可能。
- 本機とUSB接続しているパソコン上に保存されているオーディオファイルを本機のSDカードに転送（コピー）可能。

第1章　はじめに

付属品

- ソフトケース　1
- SDカード（取扱説明書を収録、本体差込済み）　1
- BP-L2（専用リチウムイオンバッテリー）　1
  （保証書・取扱説明書を含む）
- USBケーブル　1
- クイックスタートガイド　1
- 保証書　1

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合、お買い上げの販売店までご連絡下さい。

充電池のリサイクル

本機にはリチウムイオンバッテリーを使用しています。不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

■ ご不明な場合は、弊社のタスカム営業技術までお問い合わせください。

Li-ion00

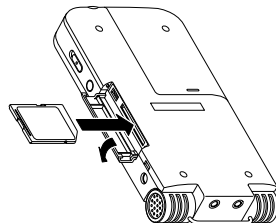
SDカードについて

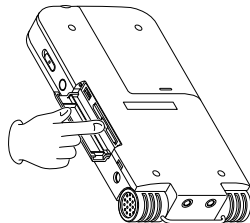
本機ではSDカードを使って記録や再生を行いますので、ご使用前にカードを本機にセットする必要があります。使用できるカードは、64MB〜2GBのSDカード、および4GB〜32GBのSDHCカードです。
動作確認済みメディアに関しては弊社ホームページ（http://www.tascam.jp/）をご確認ください。

メ モ

本機をお買い上げ時には1GBのSDカードがセットされています。このSDカードをそのまま使って録音／再生を行う場合は、改めてセットし直す必要はありません。

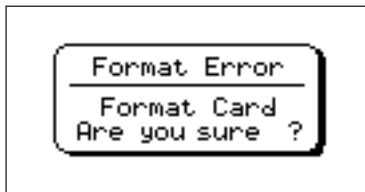
カードをセットする

本機の左サイドパネルにSDカードスロットとUSBコネクタの蓋があります。
蓋を矢印の方向に押し下げてから開きます。
SDカードスロットに付属のSDカードを差し込み、カチッと手応えがあるまで押します。

カードを取り外すには：

差し込まれているSDカードを押します。

ご注意

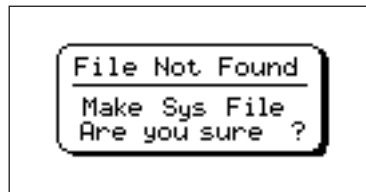
録音中や再生中、およびパソコンとUSB接続中、本機からSDカードを取り外さないでください。

新しいカードをセットしたとき

新しいカードをセットすると、以下のポップアップ画面が表示されます。

本機で使える状態にするには、►/❚❚キーを押してフォーマットを行ってください。
フォーマットが終わるとホーム画面が表示されます。

その他のケース

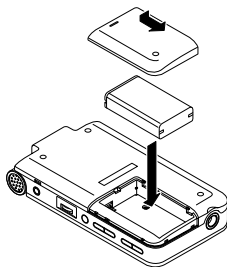
● GT-R1以外の機器でフォーマットしたSDカードをセットした場合も、上記の画面（**FORMAT ERROR**）が表示されますので、フォーマットを行ってください。ただし、TASCAM DR-1でフォーマットしたSDカードは本機と互換性があるので、上記の画面が表示されず、そのまま使用できます。

● パソコンからの操作で誤ってSDカード上のシステムファイルなどを削除してしまった場合、以下のポップアップ画面が表示されます。

この場合も、►/❚❚キーを押してフォーマットを行ってください。

電源について

本機は専用リチウムイオンバッテリー・BP-L2（または別売のACアダプター［PS-P520］）で駆動することができます。バッテリーは、USB接続したパソコン（または別売のACアダプター）を使って充電することができます。お買い上げ時、付属のバッテリーは十分に充電されていません。ご使用の際はあらかじめバッテリーを充電しておくか、あるいはACアダプターを接続してください。

バッテリーをセットする

本機の裏面にあるバッテリーケースの蓋をスライドして取り外し、付属の専用バッテリーをセットします。

バッテリーを充電する

● パソコンを使って充電する：

本機の左サイドパネルの蓋を開き、付属のUSBケーブルを使って、本機の**USB**ポートとパソコンをUSB接続します。パソコンと本機は直接接続してください。USBハブを経由した場合の動作は保証できません。

USB接続中は本機の電源を入れなくても充電が行われます。

充電時間はおよそ6時間です（本機の電源オフで充電時）。

本機の電源を入れた状態でパソコンと本機を接続すると、自動的に本機がUSB接続モードになります（ → 30ページ「パソコンを接続する」）。

● 別売のACアダプターを使って充電する：

別売のACアダプターを本機の**DC IN 5V**端子に接続した状態で、充電が行われます。

充電時間はおよそ3時間です（充電時の本機の電源オン／オフ状況にかかわらず）。

ACアダプター接続中は、充電しながら本機を使用することができます。

メ モ

充電中はディスプレイの右にある充電インジケーターがオレンジ色に点灯します。フル充電されると消灯します。

バッテリーを交換する

本機付属のバッテリーと同じバッテリーが別売されています（BP-L2）。電源のないところで長時間のレコーディングを行うときなどは、予備のバッテリーを用意しておくとよいでしょう。

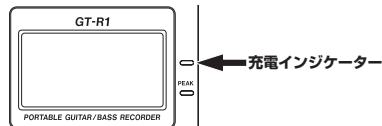
バッテリーを交換するには、ボトムパネルのバッテリーケースの蓋をスライドして取り外します。

電源を入れる

本機のPOWERキーを押し続け、画面に **"TASCAM GT-R1"** と表示されたら離します。

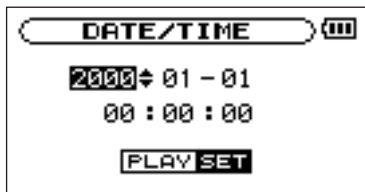
本機が起動してホーム画面が表示されます。

電源を切るには：

POWERキーを押し続け、画面に **"PORTABLE GUITAR/BASS RECORDER"** と表示されたら離します。

日時を設定する

本機内蔵のクロックの日時を設定します。オーディオファイル作成時、ファイルデータとして日時が記録されます。

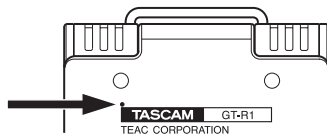
1. MENUキーを押してメニューリストを表示します。
2. ホイールを使って**DATE/TIME**を反転し、►/❚❚キーを押します。

   DATE/TIME画面が表示されます。

   画面表示中はクロックが停止しています。

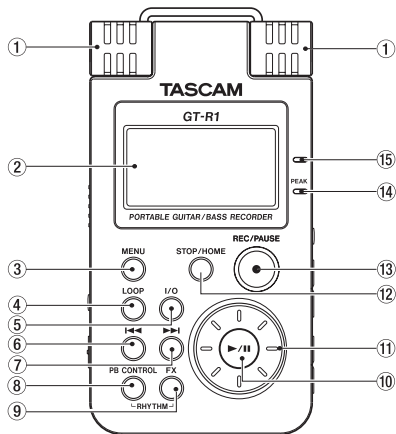
3. ⏮／⏭キーを使ってカーソル（反転表示部）を移動し、ホイールを使って値を設定します。
4. 設定後、►/❚❚キーを押すと、設定値からクロックが作動を始めます。

   ディスプレイはメニューリスト画面に戻ります。

本機をリセットするには

本機のボトムパネルにリセット用ホールがあります。
本機の動作がおかしくなったとき、クリップの先端や細長い棒などをこの穴に差し込んで、内部にあるボタンを押してください。電源がオフになり、本機のシステムがリセットされます。

ご注意

正常に動作しているときはリセットボタンを押さないでください。

トップパネル

① 内蔵ステレオマイク

エレクトレットコンデンサータイプのステレオマイクです。このマイクを入力ソースにするには、入力設定画面で**INT/MIC**を選択します。なお、リアパネルのMIC IN端子にマイクを接続すると、内蔵マイクが無効になります。

② ディスプレイ

ホーム画面を表示する他、録音画面や各種設定画面などを表示します。（ → 19ページ「画面の概要」）

③ MENUキー

ホーム画面表示中にこのキーを押すとメニューリスト（**MENU**画面）が表示されます。

各種設定画面を表示中にこのキーを押したときも、**MENU**画面に戻ります。

MENU画面表示中にこのキーを押すとホーム画面に戻ります。

④ LOOPキー

希望の区間を繰り返し再生するループ再生モードのオン／オフを行います。（ → 59ページ「ループ再生する」）

⑤ I/O キー

希望の区間をループ再生させるときの「始点」と「終点」を設定します。「始点」と「終点」が設定されているときにこのキーを押すと、「始点」と「終点」がクリアされます。（ → 59ページ「ループ再生する」）

⑥ ◀◀キー

再生中あるいは途中で停止しているときにこのキーを押すと、曲の先頭に戻ります。
ファイルの先頭で停止しているときに押すと、手前のファイルにスキップします。
押し続けると早戻しサーチを行います。
設定画面表示中、画面内のカーソルを左に移動します。
ブラウザ画面では階層を戻ります。
リズム画面表示中、パターンの選択を行います。

⑦ ▶▶キー

再生中や停止中にこのキーを押すと、次のファイルにスキップします。
押し続けると早送りサーチを行います。
設定画面表示中、画面内のカーソルを右に移動します。
ブラウザ画面では階層を進みます。
リズム画面表示中、パターンの選択を行います。

メ モ

VBRで作成されたMP3ファイルは、早送り／早戻しサーチをすると曲の経過時間と再生音がずれたり、曲の最後の部分を繰り返して再生する場合がありますが、一旦再生を止めれば正常な状態に復帰します。

⑧ PB CONTROLキー

このキーを長押しすると、再生コントロール設定（**PB CONTROL**）画面が表示されます。**PB CONTROL**画面表示中にこのキーを長押しすると、ホーム画面に戻ります。 → 56ページ「特殊な再生（再生コントロール機能）」）
このキーを短く押すと、**PB CONTROL**画面のスピードコントロール（**VSA**および**SPEED**項目）設定のオン／オフが切り替わります。オンのとき、ホーム画面上の**SPEED**アイコンが反転します。
ホーム画面表示中にPB CONTROLキーとFXキーを同時に押すと，リズム画面が表示され、リズムモードになります。リズムモード中にPB CONTROLキーとFXキーを同時に押すと，リズムモードを終了してホーム画面に戻ります。また、リズム画面表示中にPB CONTROLキーを押すと、リズム設定画面が表示されます。

⑨ FXキー

このキーを短く押すと、エフェクターのオン／オフが切り換わります。
このキーを長押しするとエフェクト設定画面が表示されます。エフェクト設定画面表示中にこのキーを長押しするとホーム画面に戻ります。（ → 62ページ「内蔵エフェクターを使う」）

ホーム画面表示中にPB CONTROLキーとFXキーを同時に押すと，リズム画面が表示され、リズムモードになります。リズムモード中にPB CONTROLキーとFXキーを同時に押すと，リズムモードを終了してホーム画面に戻ります。

⑩ ►/IIキー

ホーム画面表示中、停止中に押すと、再生を始めます。再生中に押すと、その位置で停止します。
設定画面での操作時、選択を確定したり、階層を進んだり、確認メッセージに対して「**YES**」と答えるときに使います（ENTERキー機能）。
リズム画面表示中に押すと、リズムマシンのスタートとストップが切り換わります。

⑪ ホイール

設定画面での操作時、項目を選択したり設定値の変更するときに使います。
ホーム画面表示時、ホイールを使ってファイルの再生位置を移動することができます。
リズム画面表示中、テンポを設定することができます。

⑫ STOP/HOMEキー

録音や再生を停止するときや、録音待機を解除するときに使います。
設定画面表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。
また設定画面の操作では、確認メッセージに対して「**NO**」と答えるときに使います。

⑬ REC/PAUSEキー

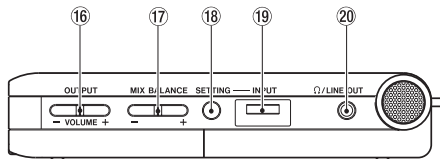
停止中に押すと、録音待機になり、キーが点滅します。
また、**INPUT SETTING**画面の**MONITOR**項目が**ON**の場合、オーバーダビング オン/オフのポップアップが表示されます。（ → 33ページ「録音する」）
録音待機中に押すと、録音が始まり、キーが点灯に変わります。
録音中に押すと、録音一時停止になります。
リズム画面表示中も同様に、このキーを押すとリズムマシンの録音待機になり、録音待機中に押すと録音が始まりまず。（ → 75ページ「リズムに合わせて行う演奏を録音する」）

⑭ PEAKインジケーター

選択中の入力信号がレベルオーバーすると点灯します。

⑮ 充電インジケーター

本機にセットしている専用リチウムイオンバッテリーを充電しているとき、オレンジ色に点灯します。フル充電されると消灯します。

右サイドパネル

⑯ OUTPUT VOLUME（+、−）キー

Ω/LINE OUT端子から出力される信号のレベルを調整します。

調整中、ボリューム位置がディスプレイに表示されます。

⑰ MIX BALANCE（+、−）キー

INPUT SETTING画面の**MONITOR**項目をオンに設定したとき、入力信号にミックスする再生信号（リズムモード時はリズムマシン出力）の音量を調節します。操作中、再生音量が表示されます。音量を上げるときは+キー、下げるときは−キーを使います。

MONITOR項目の設定がオフのとき、キーを押すと、**"MONITOR OFF"** と表示され、設定を行ことができません。

⑱ SETTINGキー

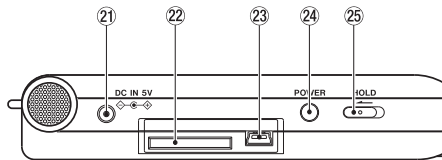
このキーを押すと入力設定（**INPUT SETTING**）画面が表示されます。この画面で、入力の選択、INT/MIC INの設定、入力信号の常時モニターのオン／オフを行います。

⑲ INPUTボリューム

内蔵マイク、GUITAR IN端子、MIC IN端子からの入力信号の入力レベルを調節します。LINE IN端子からの入力信号は調節できません。

⑳ Ω/LINE OUT端子

ヘッドホンまたはアンプなどのライン入力端子に接続します。**INPUT SETTING**画面の**MONITOR**項目の設定とレコーダーの動作状態に応じて、入力信号、再生信号、または入力信号と再生信号のミックス信号が出力されます。

左サイドパネル

㉑ DC IN 5V端子

ACアダプター（別売りのTASCAM PS-P520）を接続します。

㉒ SDカードスロット

SDカードをセットします。（ → 7ページ「SDカードについて」）

㉓ USBポート

付属のUSBケーブルを使ってパソコンと接続するためのUSBポートです。（ → 30ページ「パソコンを接続する」）

ご注意

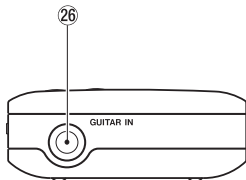
パソコンとの接続はUSBハブを経由せずに、直接接続してください。

㉔ POWERキー

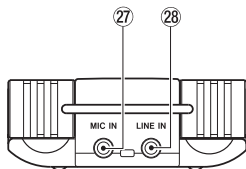
長押しすることにより、電源のオン／オフを行います。

㉕ HOLDスイッチ

左（**ON**）側にセットするとホールド機能が働きます。ホールド中はすべてのキー操作を受付けません。

フロントパネル

㉖ GUITAR IN端子

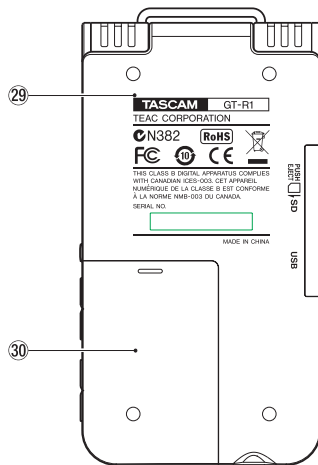
ギター／ベースを接続するためのモノラル標準ホンジャックです。

リアパネル

㉗ MIC IN端子

ステレオミニジャックのマイク入力端子です。
プラグインパワーに対応しています。
設定は**INPUT SETTING**画面を使って行います。

㉘ LINE IN端子

ステレオミニジャックのライン入力端子です。規定入力レベルは－10dBV固定です。

ボトムパネル

㉙ リセット用ホール

本機の動作がおかしくなったとき、クリップの先端や細長い棒などをこの穴に差し込んで、内部にあるボタンを押してください。電源がオフになり、本機のシステムがリセットされます。

ご注意

通常の動作中はシステムリセットボタンを押さないでください。

㉚ バッテリーケース

専用リチウムイオンバッテリー（BP-L2、付属および別売）を収納します。

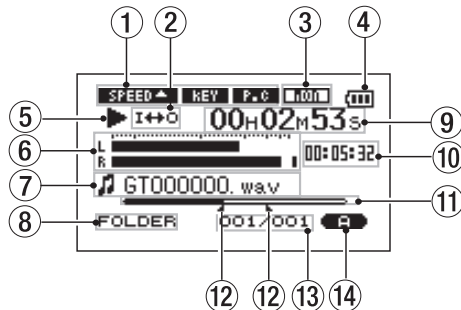
本機のディスプレイにはさまざまな画面が表示されます。

- 通常の再生時や停止時はホーム画面が表示されます。
- 録音時や録音待機時は録音画面が表示されます。
- 各種設定時はそれぞれの設定画面が表示されます。
- リズムマシン使用時はリズム画面が表示されます。

以下にホーム画面、録音画面の表示と操作、および各種設定画面の概要と操作を説明します。リズム画面については「第16章　リズムマシンを使う」（68ページ）をご覧ください。

ホーム画面

以下にホーム画面の表示項目を説明します。

各設定画面や録音画面についてはそれぞれの説明個所をご覧ください。

① 再生コントロール機能の設定状態

各再生コントロール機能（スピードコントロール、キーチェンジ、パートキャンセル）が現在有効かどうかを表示します。有効なとき、反転表示になります。（ → 56ページ「特殊な再生（再生コントロール機能」）

② ループ／リピート設定状態

状況に応じて以下のアイコンを表示します。

SINGLE：シングル再生中

1：1曲リピート中

ALL：プレイエリア内の全曲中

I↔O：ループリピート中

③ 入力モニターの設定状態

入力モニター機能のオン/オフ状態を表示します。（→ 27ページ）

④ 電源

リチウムイオン電池駆動時は電池アイコンを表示します。電池残量が3目盛り（充電が必要になったときの点滅表示を含めて計4段階）で表示されます。

⑤ レコーダー動作

レコーダーの動作状態をアイコン表示します。

►：再生中

❚❚：ファイルの途中で停止中

■：ファイルの先頭で停止中

►►：早送り中

◄◄：早戻し中

►►I：次のファイルの先頭にスキップ

I◄◄：現在または手前のファイルの先頭にスキップ

⑥ レベルメーター

選択中の入力からの信号と再生ファイルの信号をMIXしたレベルを表示します。入力オーバーになると、一番右のドットがしばらく点灯します。

⑦ ファイル情報

再生中のファイルのタグ情報またはファイル名を表示します。

ID3タグ情報を持つMP3ファイルの場合、ID3タグ情報が優先して表示されます。

ID3タグ情報を持たないMP3ファイル、およびWAVファイルの場合、ファイル名が表示されます。

メ モ

ID3タグ情報とは、MP3ファイルに保存可能なタイトルやアーティスト名の情報です。

⑧ 再生対象エリア

現在の再生対象エリアを表示します。

ALL：MUSICフォルダ内の全ファイル

FOLDER：MUSICフォルダ内のサブフォルダ内のファイル

P.LIST：プレイリストに登録されたファイル

⑨ 経過時間

再生中のファイルの経過時間（時：分：秒）を表示します。

⑩ 残量時間

再生中のファイルの残量時間（時：分：秒）を表示します。

⑪ 再生位置表示バー

現在の再生位置をバー表示します。再生の経過とともに、左からバーが伸びていきます。

⑫ ループの始点／終点設定状況

ループ再生の始点／終点の設定状況を表示します。

始点を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に" ◢ "が表示されます。

終点を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に" ◣ "が表示されます。

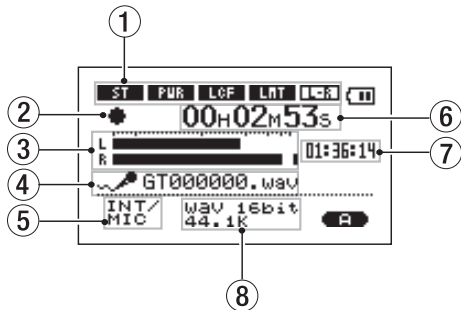
⑬ 再生ファイル番号／総ファイル数

再生対象エリアの総ファイル数と現在のファイル番号を表示します。

⑭ エフェクターのオン／オフ状態

エフェクターのオン／オフ状態を表示します。エフェクターがオンのとき反転表示になります。

録音画面

REC/PAUSEキーを押して録音待機にしたとき、および再度**REC/PAUSE**キーを押して録音を実行しているときに表示されます。

電源表示、およびエフェクターのオン／オフ表示は、ホーム画面と同じです。これらの他に以下の表示があります。

① INT/MIC INの設定状態

内蔵マイク／MIC INに関する設定（ステレオ録音、プラグインパワー、ローカットフィルター、レベルコントロールおよびLRスワップ）の状態を表示します。

② レコーダー動作

●：録音中

❚❚：録音一時停止中

■：録音待機中

③ 録音レベルメーター

選択中の入力から入力信号のレベルをL、Rチャンネル別々に表示します。

④ ファイル名

録音するファイルに自動的に付けられるファイル名を表示します。

⑤ 入力選択

入力ソースを表示します。

⑥ 録音経過時間

録音ファイルの経過時間（時：分：秒）を表示します。録音待機時は録音可能な時間の表示となります。

⑦ 録音残時間

録音の残時間（時：分：秒）を表示します。

⑧ 録音モード

録音ファイルの形式／サンプリング周波数を表示します。オーバーダビング中は、再生ファイルの情報（ファイル名、またはMP3のID3TAG）を表示します。

リズム画面

ホーム画面表示中にPB CONTROLキーとFXキーを同時に押してリズムモードにしたときに表示されます。この画面表示中、リズムマシンを動作させることができます。詳細については「リズムマシンを使う」（68ページ）をご覧ください。

設定画面

本機ではディスプレイに表示される各種設定画面を使って、さまざまな設定や操作、あるいは情報表示を行います。

メモ

各種設定画面では、設定の他に、機能実行、情報表示なども行いますが、本書では「設定画面」と呼びます。

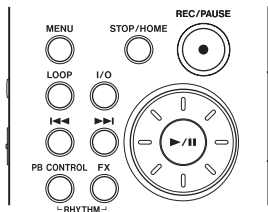
設定画面の構成

各設定画面には、メニューリスト画面（**MENU**画面）を呼び出し、この画面からアクセスするものと、専用キーから直接アクセスするものがあります。
次のページに設定画面構成をまとめます。

第4章　画面の概要

画面	概要	呼び出し方法
INFORMATION	ファイル情報表示、環境設定、システム情報表示	MENUキー → MENU画面
BROWSE	MUSICフォルダ内部の音楽ファイル／フォルダ表示、 ファイルの再生／削除／プレイリスト登録、 フォルダの作成／選択	MENUキー → MENU画面
PLAY LIST	プレイリストの編集（曲の削除、移動）	MENUキー → MENU画面
PLAY MODE	再生モードの設定、シングル、リピートモードの設定	MENUキー → MENU画面
REC SETTING	録音に関する設定（ファイル形式、Fs、最大ファイルサイズ）	MENUキー → MENU画面
TUNER	チューナー機能、オシレーター機能	MENUキー → MENU画面
SETUP	各種環境設定、イニシャライズ、フォーマット	MENUキー → MENU画面
DATE/TIME	内蔵クロックの日時設定	MENUキー → MENU画面
INPUT SETTING	入力ソースの選択、入力モニターの設定、 内蔵マイク/MIC INに関する設定	SETTINGキー
EFFECT	エフェクターに関する設定	FXキーの長押し
PLAYBACK CONTROL	再生コントロール機能の設定	PB CONTROLキーの長押し
RHYTHM	リズムマシン機能の設定、実行	リズム画面表示中に PB CONTROLキーを押し

操作の基本

各種設定画面の操作には**MENU**キー、►/**II**キー、ホイールおよび I◄◄ ／ ►►I キーを主に使います。そのほかに、**STOP/HOME**キーを使う場合もあります。それぞれ、以下の働きをします。

MENUキー：

このキーを押すと、メニューリスト画面（**MENU**画面）が表示されます（**MENU**画面表示中および録音画面表示中を除きます）。

MENU画面表示中にこのキーを押すと、ホーム画面に戻ります。録音画面表示中はこのキーは無効です。

ホイール：

項目を選択したり、値を変更するときに使います。

►/IIキー：

項目選択を確定したり、確認メッセージに対して「**YES**」と答えるときに押します（いわゆる「**ENTER**キー」としての機能）。

I◄◄キー：

設定画面表示中、画面内のカーソル（反転表示部）を左に移動します。設定項目の値の設定を行った後、項目選択に戻すときなどに使います。

►►Iキー：

設定画面表示中、画面内のカーソル（反転表示部）を右に移動します。多くの場合、►/**II**キーでも操作できます。

STOP/HOMEキー：

設定画面表示中、ホーム画面に戻るときに押します。ただし確認メッセージ表示中は「**NO**」と答えるときに押します。

メ モ

再生中も、メニュー操作を行うことができます。

実際の操作例

例として、**SETUP**メニューの**CUE/REV SPEED**項目を使って、「早送り／早戻しのスピード」を変更してみましょう。

1. ホーム画面表示中にMENUキーを押します。
   MENU画面が表示されます。

メ モ

上図のように画面右下部の **"▼"** 表示は、現在の画面表示より下にまだ表示内容があることを示しています。現在の画面表示より上にまだ表示内容がある場合は **"▲"** が表示されます。

2. ホイールを回して**SETUP**を反転表示し、►/**II**キーを押します。
   SETUP画面が表示されます。

3. ホイールを回して**CUE/REV SPEED**項目を反転表示し、►/**II**キーを押します。
   現在の設定値（初期設定では **"X8"** ）が反転表示になります。

メ モ

►/**II**キーの代わりに►►Iキーを使うこともできます。

4. ホイールを回して希望の設定にします。
   そのまま設定が確定します。►/**II**キーを押す必要はありません。

メ モ

設定値の右側に **"▲"** が表示されているとき、ホイールを右に回すと別の値に変わり、**"▼"** が表示されているとき、ホイールを左に回すと別の値に変わります。

5. STOP/HOMEキーを押すと、ホーム画面に戻ります。

本機はギター／ベースなどの楽器、あるいは歌の練習に役立つ機能を数多く装備しています。これらの機能をここにまとめておきます。各機能の詳細は本取扱説明書のそれぞれの該当個所で説明してありますので、必要に応じてお読みください。

入力を選択する

練習するパートに応じて、本機の入力のいずれかを使います。エレキギター／エレキベースの練習にはギター／ベース専用入力（GUITAR IN)、歌や管楽器などの練習には内蔵マイクあるいは外部マイク入力 (MIC IN)、シンセサイザーや電子ピアノの練習にはライン入力 (LINE IN)を選択します。

(→ 34ページ「入力ソースを選択する」)

入力常時モニターにする

入力信号を常時 Ω /LINE OUT端子から出力する設定にできます。これにより、楽器や歌の練習をするとき、ギター／ベースなど本機に接続した楽器あるいはマイクからの入力を、常にヘッドホンやスピーカーを通してモニターすることができます。したがってオーディオファイル再生中やリズムマシン動作中には、これらの信号と入力信号のミックス信号をモニターできます。

入力信号を常時モニターできるようにするには、以下の操作を行います。

1. SETTINGキーを押して**INPUT SETTING**画面を表示します。
2. ホイールを使って**MONITOR**項目を反転し、**►/II**キーを押します。
3. ホイールを使って **"ON"** を選択します。
   この状態で、常に入力信号をモニターできるようになります。
4. STOP/HOMEキーを押してホーム画面に戻します。

チューニングする

本機のチューナー機能を使って、楽器をチューニングすることができます。本機に入力した音を本機のメーター表示を見ながらチューニングできるほかに、本機からチューニングトーンを出力することもできるので、複数のミュージシャンが同時にチューニングできます。

(→ 65ページ「第15章　チューナーを使う」)

エフェクターを使う

本機の内蔵エフェクターを使って、入力信号にリバーブその他のエフェクトを掛けることができます。エフェクターは再生信号と入力信号のいずれかに掛けることができます。入力信号に掛ける場合は、**EFFECT**画面の**SOURCE**項目を **"INPUT"** に設定してください。（ → 62ページ「内蔵エフェクターを使う」）

フレーズをコピーする

本機の再生コントロール機能の中のスピード機能とVSA機能を使うと、速いフレーズのコピーがやりやすくなります。

スピード機能を使ってスピードを落とします。このとき、VSA機能をオンにしておくと、スピードを落としたときに音程が変わりません。（ → 56ページ「スピードを変える」）（ → 57ページ「キーを変えずにスピードを変える」）

リズムマシンに合わせて演奏する

本機はリズムマシンを内蔵しています。リズムマシンには88種類のリズムパターンがプリセットされ、テンポ設定やカウントイン設定を行うことができます。（ → 68ページ「第16章　リズムマシンを使う」）

メトロノームを使う

本機のリズムマシンのプリセットパターンの中から**COUNT1**～**COUNT9**を選択すると、リズムマシンをメトロノームとして使うことができます。（ → 71ページ「リズムマシンを設定する」）

リズムマシンに合わせて演奏を録音する

リズムマシンに合わせて演奏する音を録音することができます。またカウントインの設定もできます。（ → 68ページ「リズムマシンを使う」）

CDの楽曲に合わせて演奏する

入力常時モニターに設定しているとき、本機に取り込んだCDなどの楽曲に合わせて（ → 61ページ「第13章パソコンから曲を取り込む」）、ギター／ベースや歌などの練習をすることができます。このとき、効果的に練習を行うためのさまざまな便利機能があります。

繰り返し再生する

楽曲内の希望の区間を繰り返し再生できますので、うまく演奏できない個所の反復練習に便利です。

1曲を繰り返し再生することもできます。（ → 59ページ「ループ再生／リピート再生／1曲再生」）

キーを変える

素材の楽曲のキーを変えることができます。例えばキーを変えて歌いたいときは、**PB CONTROL**画面の**KEY**項目を使って半音単位で変えることができます。また、楽曲のキーと楽器のチューニングが微妙に合っていないときなど、**PB CONTROL**画面の**FINE TUNE**項目を使って素材のほうを合わせることができます。（ → 57ページ「特殊な再生（キーだけを変える)」）

スピードを変える

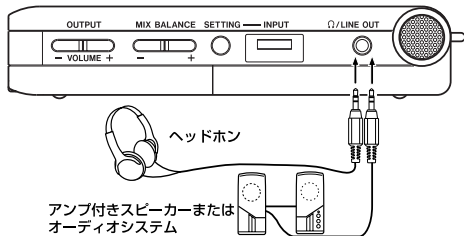
素材の楽曲が速すぎてついていけないような場合、**PB CONTROL**画面の**SPEED**項目を使ってスピードを落とすことができます。このときVSA機能をオンにしておくと、スピードを変えたときに音程が変わりません。（ → 56ページ「スピードを変える」）（ → 57ページ「キーを変えずにスピードを変える」）

ギター／ベースの音を低減する

楽曲内のギター／ベースの音を低減することができます。これを行うには**PB CONTROL**画面の**PART CANCEL**項目を**ON**にします。この項目には他に2つのサブ項目があり、それらの設定を変えることで、より効果的に低減できる場合があります。（ → 57ページ「ギター／ベースの音を低減する」）

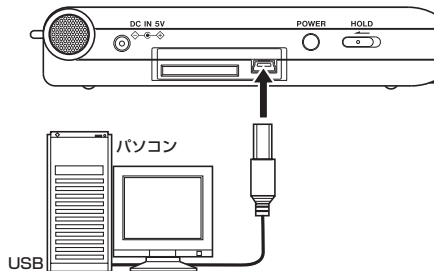
多重録音する（オーバーダビング）

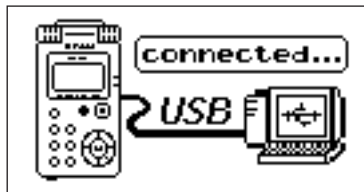
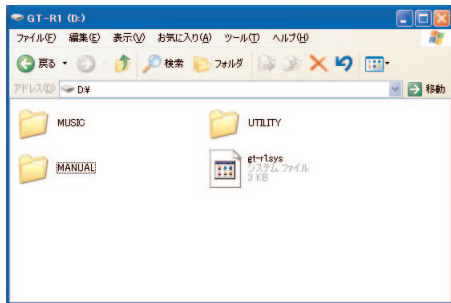
オーディオファイルの再生音に合わせて演奏をするとき、これらの音をミックスして録音することができます。このとき新しいファイルが作成されます。この操作を繰り返すことにより、次々と音を重ねて行くことができます。（ → 42ページ「オーバーダビングをする」）

モニターを接続する

本機のΩ/LINE OUT端子にヘッドホンまたはモニターシステム（アンプ内蔵スピーカー、アンプ／スピーカーシステムなど）を接続します。

パソコンを接続する

本機とパソコンを接続することにより、パソコン上の音楽ファイル（WAVまたはMP3形式）を本機に転送（コピー）したり、パソコンから本機のファイルの削除やフォルダ操作を行うことができます。

パソコンと接続するには、本機の左サイドパネルの蓋を開き、付属のUSBケーブルを使って、本機の**USB**ポートとパソコンの**USB**ポートを接続します。

接続すると本機の画面に、**"USB connected.."** が表示されます。

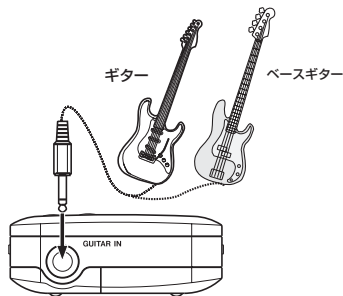
パソコンの画面に、本機が **"GT-R1"** というボリュームラベルの外部ドライブとして表示されます。

"GT-R1"ドライブの中には、MUSICフォルダ、UTILITYフォルダおよび取扱説明書のPDFデータを収録したMANUALフォルダがあります。

接続を外す

パソコンと本機の接続を外すときは、パソコンから本機を正しい手順で切り離してから、USBケーブルを外します。本機が自動的に再起動します。

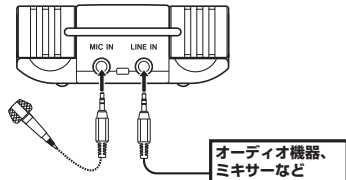
パソコン側での接続解除方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

ギター／ベースを接続する

フロントパネルの**GUITAR IN**端子（モノラル標準ホンジャック）にエレキギターやエレキベースを直接接続することができます。

メ モ

入力した楽器に内蔵のエフェクターを掛けたり、内蔵リズムマシンと一緒に演奏／録音することができます。

外部のマイクやオーディオ機器を接続する

本機にはステレオマイクが内蔵されているので、これを使って録音や歌の練習などを行うことができますが、外部のマイクを接続することもできます。またオーディオ機器やミキサーなどの外部音源を接続することもできます。（接続に伴う設定や入力レベル設定については「録音する」（33ページ）をご覧ください。

外部マイクを接続する

リアパネルのMIC IN端子（ステレオミニジャック）にワンポイントステレオのエレクトレットコンデンサーマイクなどを接続することができます。**INPUT SETTING**画面を使って、オートゲインやローカットフィルターなどの設定を行います。（ → 34ページ「入力ソースを選択する」）

オーディオ機器やミキサーを接続する

リアパネルのLINE IN端子（ステレオミニジャック）にオーディオ機器やミキサーのライン出力などを接続することができます。

メモ

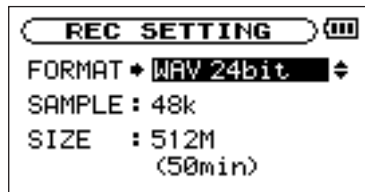
LINE IN端子からの入力のレベルは調節することができません。

本機は内蔵マイクを使った録音の他に、外部マイクあるいは外部オーディオ機器（CDプレーヤーなど）を録音することができます。録音オーディオファイル形式はMP3（32kbps〜320kbps、44.1kHz／48kHz）、WAV（44.1／48kHz、16／24ビット）から選択可能です。さらに本機では、オーディオファイルを再生しながら入力信号をミックスして録音することができます（オーバーダビング機能）。

ファイル形式／サンプリング周波数を選択する

録音を実行する前に、録音オーディオのファイル形式を選択します。

1. MENUキーを押します。
   メニューリスト画面が表示されます。
2. **REC SETTING**メニューを選択します。
   REC SETTING画面が表示されます。

```
REC SETTING
FORMAT ◆ WAV 24bit ◆
SAMPLE : 48k
SIZE   : 512M
         (50min)
```

3. **FORMAT**項目で、ファイル形式を選択します。
   以下の中から選択できます。

   WAV 16bit（初期設定）、**WAV 24bit**、
   MP3 32kbps, **64kbps**, **96kbps**, **128kbps**, **192kbps**, **256kbps**, **320kbps**

メ モ

- オーバーダビングをする場合、ファイル形式をWAVに設定してください。MP3形式のファイルに対してはオーバーダビング録音を行うことができません。（ → 42ページ「オーバーダビングをする」）
- WAVはデータ圧縮をしない音質重視のファイル形式ですが、メモリーをたくさん使います。MP3はデータを圧縮するファイル形式ですので、メモリーをあまり消費しません。

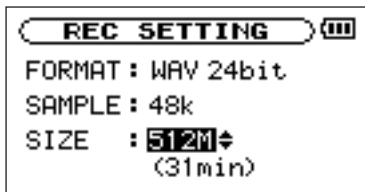
4. **SAMPLE**項目で、サンプリング周波数を選択します。
44.1kHz（初期設定）または**48kHz**を選ぶことができます。

最大ファイルサイズを設定する

上記のオーディオファイル形式を選択する**REC SETTING**画面で、作成するオーディオファイルの最大ファイルサイズを設定します。オーディオを録音中、設定した最大ファイルサイズに達すると自動的に録音が終了します。

1. MENUキーを押します。
メニューリスト画面が表示されます。

2. **REC SETTING**メニューを選択します。
REC SETTING画面が表示されます。

```
REC SETTING
FORMAT : WAV 24bit
SAMPLE : 48k
SIZE   : 512M
         (31min)
```

3. **REC SETTING**項目で、最大ファイルサイズを選択します。
以下の中から選択できます。
64M、**128M**、**256M**、**512M**、**1G**、**2G**（初期設定）
ファイルサイズ値の下に、選択サイズにおける録音時間が表示されます。

メ モ

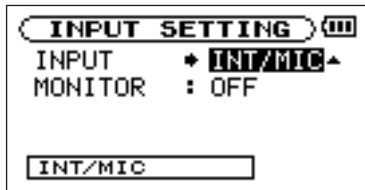
ファイル形式によって、同じファイルサイズにおける録音時間が異なります。また録音時間が24時間以上の場合、23時59分59秒として表示されます。

入力ソースを選択する

以下の手順で入力ソースを選択します。

メ モ

録音時、入力ソースが録音ソースになります。

1. SETTINGキーを押して、**INPUT SETTING**画面を表示します。

2. **INPUT**項目で希望の入力ソースを選択します。

- INT/MIC：

MIC IN端子（ステレオミニジャック）にマイクケーブルを接続していないときは内蔵マイク、接続しているときはMIC IN端子に入力されるマイク信号が入力ソースになります。

INT/MIC選択時は、入力の機能の設定を行います。

（ → 36ページ「INT/MIC INの機能を設定する」）

- GUITAR：

フロントパネルの**GUITAR IN**端子（モノラル標準ホンジャック）に入力されるギター／ベースが録音ソースになります。

L/R両チャンネルに同じ信号が供給されます。

- LINE：

リアパネルの**LINE IN**端子（ステレオミニジャック）に入力されるラインレベル信号（−10dBV）が録音ソースになります。

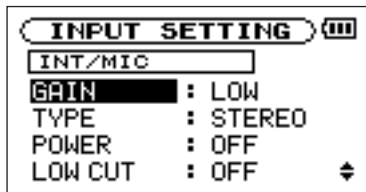
ご注意

マイクを使って録音を行うときは、モニターはヘッドホンを使って行ってください。スピーカーを使ってモニターすると、スピーカーの出力音が入力されて、正常な音で録音できなかったり、ハウリング（フィードバック）を起こす可能性があります。

ヒント

- 本機にはエフェクターが内蔵され、必要に応じて入力ソースに掛けることができます。（ → 62ページ「内蔵エフェクターを使う」）
- エフェクターの**SOURCE**項目の設定、エフェクターのオン／オフおよびモニターのオン／オフは入力ソース毎に記憶されています。

INT/MIC INの機能を設定する

INPUT項目で**INT/MIC**を選択した場合、⏮キーを押して**INPUT**を反転させてから、ホイールを右に回します。**INT/MIC**の機能設定画面になります。

この画面には以下の設定項目があります。これらのうち、**POWER**項目はMIC INに対してのみのみ有効です。それ以外の項目は、内蔵マイクとMIC INどちらに対しても有効です。

GAIN

入力の感度（**HIGH,MID**または**LOW**）を選択します。初期設定は **"MID"** です。入力レベルが低すぎるときは **"HIGH"** を、入力レベルが高いときは **"LOW"** を選択してください。

TYPE

接続するマイクに応じて、ステレオ（**STEREO**）またはモノラル（**MONO**）を選択します。初期設定は**STEREO**です。**"MONO"** を選択すると、L/R両チャンネルに同じ信号が供給されます。

POWER

プラグインパワーを必要とするマイクを接続したとき、**"ON"** に設定します。初期設定は**OFF**です（内蔵マイク使用時は**OFF**としてください）。

ご注意

ダイナミックマイクや電池内蔵のマイクを接続するときは **"OFF"** に設定してください。**"ON"** にするとマイクの故障の原因になる恐れがあります。

LOW CUT

ローカットフィルターの設定を行います。
初期設定は**OFF**です。**"40Hz"**,**"80Hz"** または **"120Hz"** を選択すると、それぞれのカットオフ周波数を持つローカットフィルターが働きます。

メ モ

屋外での録音などで風の音が入る場合は **"OFF"** 以外に設定してみてください。

LEVEL CTRL

レベルコントロールの機能を設定します。
初期設定は **"OFF"** です。

AUTOにすると
入力レベルに応じて本機の入力ゲインが変化し、大きい音も小さい音も一定のレベルになります。
LMTにすると
入力レベルに応じて本機の入力ゲインが変化し、大きい音が入力されても歪まないようなレベルになります。

メ モ

ライブなどで不意に大きな音が入力されてしまう時に **"LMT"** にすると、過大入力を防いで歪みのない録音ができます。

LR SWAP

内蔵マイクの定位（左右チャンネル）を入れ替えます。
初期設定は **"L-R"** です。
R-Lにすると
内蔵マイクの定位（左右チャンネル）が入れ替わります。

ヒント

本体を立てた状態でマイクを本体前面に向け録音を行う場合に、音源の定位が逆に録音されることがあります。その場合、**LR SWAP**の設定を **"R-L"** とすると定位が正しく録音できます。

録音画面上の入力機能表示

録音画面上に、**TYPE**、**POWER**、**LOW CUT**、**LEVEL CTRL**の設定状況がアイコン表示されます。

ST：　**TYPE**項目を **"STEREO"** に設定すると反転します。

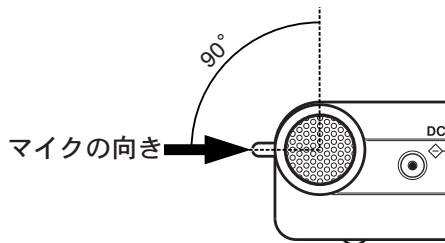
PWR：**POWER**項目を**"ON"**に設定すると反転します。

LCF：　**LOW CUT**項目を **"40Hz","80Hz"** または **"120Hz"** に設定すると反転します。

LMT：　**LEVEL CTRL**項目を **"AUTO"** または**"LMT"** に設定すると反転します。

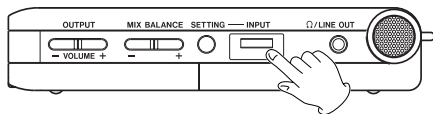
L-R：　**LR SWAP**項目を **"L-R"** に設定すると**L-R**表示、**"R-L"** に設定すると**R-L**反転表示となります。

内蔵マイクの角度を調整する

内蔵マイクの角度を変えることができます。録音時の本機の置き方と音源の位置に応じて、最適な角度を選んでください。
角度調節は以下のように90°の範囲で変えることができます。

入力レベルを調節する

マイク入力やギター／ベース入力のレベルを調節することができます（LINE IN端子からの信号の入力レベルは固定です）。
以下に録音画面を使ってレベル設定を行う手順を説明します。

1. REC/PAUSEキーを押して録音待機にします。
   キーが赤く点滅し、ディスプレイが録音画面になります。

2. 右サイドパネルのINPUTボリュームを使って、マイクの入力レベルを調節します。

ご注意

- PEAKインジケーターは入力信号の過大入力を監視します。PEAKインジケーターが点灯する場合はINPUTボリュームを使ってレベルを下げてください。
- L/Rメータは録音レベルを監視します。一番右のドットが点灯する場合はINPUTボリュームを使って入力レベルを下げるか、エフェクターを使用している場合は**EFFECT**画面内の出力レベル（**LVL**）を下げてください。

- 入力ソースとして**GUITAR**を選択しているとき、アクティブタイプ（電池内蔵タイプ）のギター／ベースを接続して音が歪む場合は、ギター／ベース側のボリュームを絞ってください。
- 入力ソースとして**INT/MIC**を選択して内蔵マイクまたはMIC INを使っているとき、INPUTボリュームを最大にしてもレベルが低い場合は、**INT/MIC IN**の機能設定画面で**GAIN**項目をより高い設定にしてください。（ → 36ページ「INT/MIC INの機能を設定する)」
- 入力ソースとして **"LINE"** を選択した場合、入力のレベルは、ソース側で調節してください。

メモ

録音待機を解除するには**STOP/HOME**キーを押します。

ヒント

マイクを使う場合、INPUTボリュームの調節だけでなく、マイクと音源との距離や向きを調節してみてください。また、マイクの向き距離や向きによって音質が変わります。

録音について

本機は、入力した信号を録音する通常録音に加えて、再生信号と入力信号をミックスして録音するオーバーダビングが可能です。

- **通常録音：**
  通常の録音（入力信号の録音）を行います。自動的に新しいファイルが作成されます。
- **オーバーダビング：**
  オーディオファイルの再生信号に入力信号をミックスして録音します。例えば、カラオケを録音したファイルに合わせて演奏した歌や楽器を録音することができます。
  この場合も自動的に新しいファイルが作成され、再生したオーディオファイルは上書きされません。

ヒント

オーバーダビングを使って、次々と音を重ねていくことができますので、本機を簡易MTRのように使うことができます。

通常の録音をする

以下の操作手順は、すでに入力が選択され、レベル調整を終え、ホーム画面が表示されていることを前提にしています。

1. **REC/PAUSE**キーを押して録音待機にします。

画面には録音ファイル名とともに、入力ソース、録音オーディオファイル形式およびサンプリング周波数が表示されますので、録音を開始する前に確認することができます。

メ モ

INPUT SETTING画面の**MONITOR**項目を **"ON"** にして常に入力をモニターできる状態にした場合、オーバーダビング **"ON/OFF"** を選択するポップアップが表示されます。この場合、**"OFF"** を反転した状態で次の手順**2.**に進んでください。

2. 再び**REC/PAUSE**キーを押します。
通常の録音が始まります。

録音が始まると**REC/PAUSE**キーが点灯に変わり、ディスプレイには録音経過時間および録音残時間が表示されます。

3. 録音を終了するには**STOP/HOME**キーを押します。
オーディオファイルが作成されます。

- 録音を一時停止するには**REC/PAUSE**キーを押します。再度**REC/PAUSE**キーを押すと、同じファイルに続きが録音されます。一時停止後に**STOP/HOME**キーを押すと、一時停止までを録音したオーディオファイルが作成されます。

オーバーダビングをする

保存されているオーディオファイルを再生しながら演奏を行い、両方の音をミックスして新たなファイルに録音します。再生するファイルの選び方、モニター音量の調節などに関しては「第8章　基本再生」をご覧ください。

準備する

オーバーダビングをする場合、以下の準備が必要です。

● ファイル形式を **"WAV"** に設定します。

オーバーダビングで作成できるのはWAVファイルのみです。

1. MENUキーを押して**MENU**画面を表示します。
2. ホイールを使って**REC SETTING**を反転し、►/❚❚キーを押します。
3. ホイールを使って**FORMAT**を反転し、►/❚❚キーを押します。
4. ホイールを使って、**"WAV 16bit"** または **"WAV 24bit"** を選択します。
5. STOP/HOMEキーを押してホーム画面に戻します。

● **INPUT SETTING**画面の**MONITOR**項目を **"ON"** にします。

1. SETTINGキーを押して**INPUT SETTING**画面を表示します。
2. ホイールを使って**MONITOR**項目を反転し、►/❚❚キーを押します。
3. ホイールを使って **"ON"** を選択します。
   この状態で、常に入力信号をモニターできるようになります。
   すなわち、再生中は再生信号と入力信号のミックス信号をモニターできます。
4. STOP/HOMEキーを押してホーム画面に戻します。

ヒント

上記の設定にすると、オーバーダビング以外に、録音した（あるいは取り込んだ）オーディオファイルに合わせて歌や楽器の練習をしたり、カラオケを楽しむことができます。

録音する

以下の操作手順は、すでに入力が選択され、レベル調整を終え、上記の準備を終えていることを前提にしています。

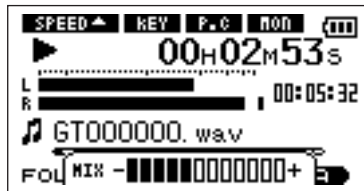
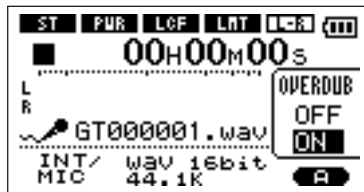
1. ホーム画面表示中、⏮／⏭キーを使って、再生するファイルを選択します。

メ モ

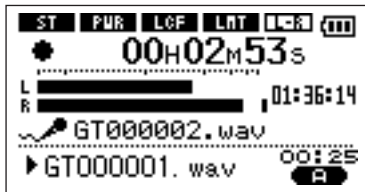
現在の再生エリア以外のファイルを再生する場合、**BROWSE**画面で直接ファイルを選択するか（→ 53ページ「ブラウズ（BROWSE）画面」）、**PLAY MODE**画面で希望の再生エリアを選択してから上記操作を行います。（→ 47ページ「PLAY MODE画面を使って再生エリアを設定する」）

2. ►/❚❚キーを押して再生を開始しながら演奏を行い、再生音と歌（演奏）との音量バランスをチェックします。

3. 必要に応じて、MIX BALANCEキーを使って再生信号の音量を増減することによって、バランスを調節します。

   調整中（キー操作中）、再生ボリュームがディスプレイの下部にバー表示されます。

4. REC/PAUSEキーを押して録音待機にします。

画面にオーバーダビング オン/オフのポップアップが表示されます。

また録音ファイル名、入力ソース、録音オーディオファイルの形式／サンプリング周波数が表示されますので、録音を開始する前に確認することができます。

5. ホイールを使って、オーバーダビング オン/オフのポップアップ上の **"ON"** を反転します。
6. 再びREC/PAUSEキーを押します。
オーバーダビングが始まります。

録音が始まるとREC/PAUSEキーが点灯に変わり、ディスプレイには録音経過時間および録音残時間が表示されます。
また、下部には再生されているファイル名が表示されます。

メ モ

オーバーダビングをする場合、ファイル形式を **"WAV"** に設定してください（ → 33ページ「ファイル形式／サンプリング周波数を選択する」）。ファイル形式をMP3に設定した状態で録音を開始しようとすると、メッセージ（**Format is MP3**）が表示され、操作を受け付けません。

7. 録音を終了するには、STOP/HOMEキーを押します。

ご注意

オーバーダビング中は、一時停止はできません（REC/PAUSEキー操作を受け付けません）。

ホーム画面表示中、►/❚❚キー、⏮キー、⏭キーを使って、通常のCDプレーヤーなどと同じように操作します。またホイールを使って再生位置の移動ができます。

メ モ

ホーム画面を表示していないとき、これらのキー／ホイールは別の働きをします。

以下の説明は、本機でフォーマットされ、本機で再生可能なオーディオファイルを収録したSDカードがセットされていることを前提にしています。

メ モ

TASCAM DR-1でフォーマットされたSDカードも使用できます。

再生する

停止中に►/❚❚キーを押すと、再生を始めます。

停止する

再生中に►/❚❚キーまたは**STOP/HOME**キーを押すと、その位置で停止します。

ファイルを選ぶ

再生中や停止中に⏮／⏭キーを使ってファイルを選択します。

再生中あるいはファイルの途中で停止しているときに⏮キーを押すと、ファイルの先頭に戻ります。

ファイルの先頭で停止しているときに⏮キー押すと、手前のファイルにスキップします。

⏭キーを押すと、常に次のファイルにスキップします。

メ モ

- 再生できるファイルは、再生エリア内のファイルです。（ → 47ページ「PLAY MODE画面を使って再生エリアを設定する」）
- 再生中のファイル情報（曲名など）やファイル番号がディスプレイ上に表示されます。
- ファイルの先頭で停止しているときは、ディスプレイに動作アイコン **"■"** を表示します。ファイルの途中で停止しているときは、動作アイコン **"❚❚"** を表示します。

早戻し／早送りする

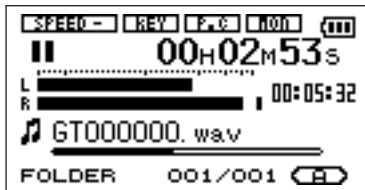
⏮／⏭キーを押し続けると早戻し／早送りサーチを行います。

メモ

SETUP画面の**CUE/REV SPEED**項目を使って、サーチスピードを設定することができます。（→ 78ページ「環境設定など」）

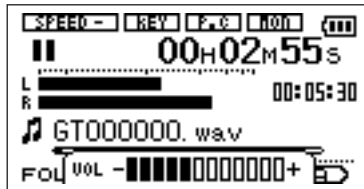
ホイールを使って再生位置を移動する

ホイールを使って、ファイル内の再生位置を移動することができます。

ホイールを回すと、再生位置表示バーの示す位置が変わり、再生位置が移動していることが確認できます。

メモ

ホイールを回している間、音声は出力されません。

音量を調節する

Ω/LINE OUT端子から出力されるモニター信号の音量を、OUTPUT VOLUMEキーを使って調節します。調整中、ボリューム位置がディスプレイに表示されます。

メモ

MIX BALANCEキーを使って再生音量を下げた状態でオーバーダビングしたオーディオファイルを再生すると、モニターレベルが録音時より低くなります。この場合はMIX BALANCE ＋キーを使ってミックスバランスを最大にしてください。

ホーム画面上では、⏮／⏭キーを使って再生曲（ファイル）を選びます。このときに選択可能なファイルの範囲を「再生エリア」として設定することができます。
カード上に数多くのファイルが記録されている場合など、選択範囲を限定することにより選択がやりやすくなります。
PLAY MODE画面で、再生エリアを全ファイル、現在のフォルダ、プレイリストの中から選択することができます。また、**BROWSE**画面を使って希望のフォルダを再生エリアに設定することができます。

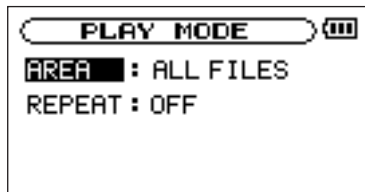
メ モ

BROWSE画面では、再生エリア設定にかかわらず、カード上の希望のファイルを選択することができます。

PLAY MODE画面を使って再生エリアを設定する

PLAY MODE画面で再生エリアを選択するには、以下の操作を行います。

1. MENUキーを押してメニューリスト画面を表示し、**PLAY MODE**を反転して►/❙❙キーを押します。
PLAY MODE画面が表示されます。

```
PLAY MODE
AREA   : ALL FILES
REPEAT : OFF
```

2. **AREA**項目を反転し、►/❙❙キーを押します。
3. 以下の中から再生エリアを選択します。

ALL

カード上のMUSICフォルダ内の全ファイルを再生することができます。

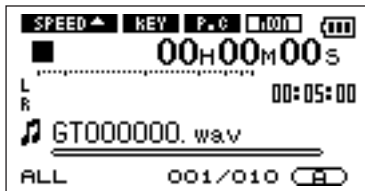
FOLDER

現在選ばれているファイルが含まれているフォルダ内のファイルを再生することができます。

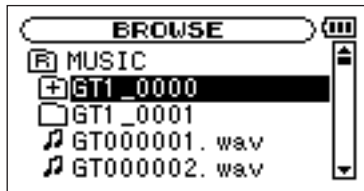
PLAYLIST

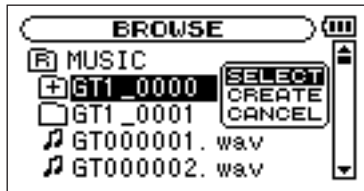
プレイリスト内のファイルを再生することができます。（ → 50ページ「プレイリスト」）
プレイリストが存在しない場合は **"No PLAYLIST"** をポップアップ表示します。

メ モ

再生エリアの現在の設定がホーム画面左下部に表示されます。

BROWSE画面を使って再生エリアのフォルダを選択する（1）

現在の再生エリアにかかわらず、**BROWSE**画面でフォルダを選択すると、選択したフォルダが再生エリアになります。

1. MENUキーを押してメニューリストを表示し、**BROWSE**を反転して►/❚❚キーを押します。
BROWSE画面が表示されます。

2. 希望のフォルダを反転します。
BROWSE画面でのナビゲーション操作については、「画面内のナビゲーション」（53ページ）をご覧ください。

3. ►/❚❚キーを押すと、以下のポップアップウィンドウが表示されます。

SELECT項目が反転しているときに►/❚❚キーを押します。

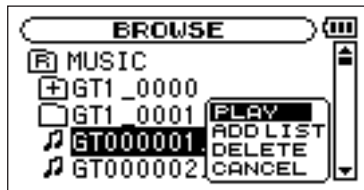
ディスプレイがホーム画面に戻り、フォルダ内の最初のファイルが選択されます。以前の再生エリア設定にかかわらず、このフォルダが再生エリアになります。

BROWSE画面を使って再生エリアのフォルダを選択する（2）

再生エリアが**FOLDER**のとき、**BROWSE**画面でファイルを選択すると、選択したファイルを含むフォルダが再生エリアになります。

1. MENUキーを押してメニューリストを表示し、**BROWSE**を反転して►/❚❚キーを押します。
BROWSE画面が表示されます。

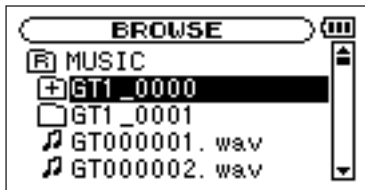
2. 希望のファイルを反転します。
BROWSE画面でのナビゲーション操作については、「画面内のナビゲーション」（53ページ）をご覧ください。

3. ►/❚❚キーを押すと、以下のポップアップウィンドウが表示されます。

PLAY項目が反転しているときに►/❚❚キーを押します。
ディスプレイがホーム画面に戻り、選択したファイルの再生が始まります。また、以前の再生エリアフォルダにかかわらず、このファイルを含むフォルダが再生エリアになります。

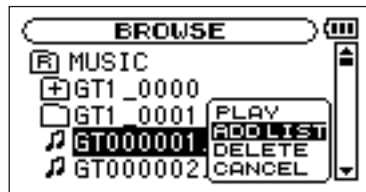
プレイリスト

再生するファイルのリスト（プレイリスト）を作成することができます。**PLAY MODE**画面の**AREA**項目で **"PLAY LIST"** を選択すると、プレイリスト上の曲を再生することができます。

プレイリストに登録する

1. MENUキーを押してメニューリスト画面を表示し、**BROWSE**を反転して►/IIキーを押します。
   BROWSE画面が表示されます。

メ モ

BROWSE画面の詳細については、「ブラウズ（BROWSE）画面」（53ページ）をご覧ください。

2. プレイリストに登録したいファイルを選択し、►/IIキーを押します。
   ポップアップウィンドウが表示されます。

メ モ

ファイルの選択方法の詳細については、「画面内のナビゲーション」（53ページ）をご覧ください。

3. **"ADD LIST"** を選択して►/IIキーを押します。
   曲がプレイリストに登録され、ポップアップウィンドウが閉じます。

4. 必要に応じて上記手順**2.**、**3.**を繰り返します。
   リスト上では、登録順に曲番号が付けられます。

プレイリストを編集する

PLAY LIST画面には作成したプレイリストが表示されます。またこの画面を使って、ファイルの再生やプレイリストの編集を行うことができます。

1. MENUキーを押してメニューリストを表示し、**PLAY LIST**を反転して►/❚❚キーを押します。
   PLAY LIST画面が表示されます。

2. 編集したいファイルを反転し、►/❚❚キーを押します。
   ポップアップウィンドウが表示されます。

ホイールを使って希望の項目を反転し、►/❚❚キーを押すと、本機が以下の動作を行います。

PLAY

ファイルを再生します。ディスプレイがホーム画面に戻ります。

ALL CLR

プレイリスト上のすべてのファイルを削除する確認メッセージを表示しますので、削除する場合は►/❚❚キーを押します。削除しない場合は**STOP/HOME**キーを押します。

この操作の場合、手順**2.**でどの曲を選択してもかまいません。全ファイルがプレイリストから削除されますが、SDカードからは削除されません。

DELETE

曲をプレイリストから削除します。
プレイリストから削除されますが、SDカードからは削除されません。

MOVE

ファイル名だけでなく、曲番数字も反転表示になります。
以下の操作によってプレイリスト上の順番を変更できます。
ホイールを使って、プレイリスト内で選択ファイルを移動します。

上図は4曲目のファイルを3曲目に移動した例です。

3. ►/❚❚キーを押します。
   移動が完了して、通常の**PLAY LIST**画面に戻ります。

第10章　ブラウズ（BROWSE）画面

BROWSE画面では、SDカード上のMUSICフォルダ（オーディオファイルの収納フォルダ）の内容を見ることができます。またこの画面で、選択したオーディオファイルの再生や削除、フォルダの作成やプレイリストへの登録などができます。（→ 50ページ「プレイリスト」）

ヒント

本機とパソコンをUSB接続するか、あるいはSDカードを直接パソコンにセットすることにより、パソコンからもMUSICフォルダ内のフォルダ構成の変更やファイルの削除ができます。さらにパソコンからはファイル名の編集が可能です。

BROWSE画面を表示するには、MENUキーを押してメニューリスト画面（**MENU**画面）を表示し、**BROWSE**を反転して►/❚❚キーを押します。

画面には、**BROWSE**画面を表示する前にホーム画面で選択されていたファイルを含むフォルダの内容が表示されます。

画面内のナビゲーション

BROWSE画面には、パソコンにおけるファイルのリスト表示のように、フォルダや音楽ファイルが「階層ツリー形式」で表示されます。フォルダは第2階層まで作成できます。

- ホイールを使ってファイルやフォルダを選択（反転）します。
- フォルダが反転中に►►❙キーを押すと、フォルダの内容が表示されます。
- ファイルやフォルダが反転中に❙◄◄キーを押すと、現在開いているフォルダが閉じて、上位の階層レベルが表示されます。

画面内のアイコン表示

以下に**BROWSE**画面内のアイコン表示内容を説明します。

MUSICフォルダ（ ）MUSIC

ルート（ROOT）階層表示中の**BROWSE**画面では、最上段にMUSICフォルダが表示されます。

オーディオファイル（ ）

音楽ファイルは（ ）のあとにファイル名が表示されます。

フォルダ（+付きフォルダアイコン ）

内部にフォルダが存在するフォルダです。

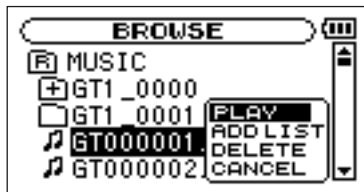
フォルダ（真っ白のフォルダアイコン ）

内部にフォルダが存在しないフォルダです。

表示中のフォルダ（開いたフォルダアイコン ）

現在、このフォルダの内容を画面表示しています。

ファイル操作

BROWSE画面内の希望のオーディオファイルを反転して►/❚❚キーを押すと、以下のポップアップウィンドウが表示されます。

ホイールを使って希望の項目を反転し、►/❚❚キーを押すと、本機が以下の動作を行います。

● PLAY

ファイルを再生します。ディスプレイがホーム画面に戻ります。再生エリア設定が**FOLDER**の場合、このファイルを含むフォルダが再生エリアになります。

● ADD LIST

プレイリストにファイルを登録します。（ → 50ページ「プレイリスト」）

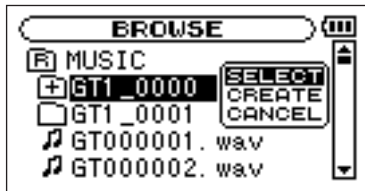
● DELETE

ファイル削除の確認メッセージを表示します。►/II キーを押すとファイルが削除され、STOP/HOME キーを押すと削除が中止されます。

● CANCEL

選択中のファイルに関する操作をキャンセルします。

フォルダ操作

BROWSE画面内の希望のフォルダを反転し、►/IIキーを押すと、以下のポップアップウィンドウが表示されます。

ホイールを使って希望の項目を反転し、►/IIキーを押すと、本機が以下の動作を行います。

● SELECT

ホーム画面に戻り、フォルダ内の最初のファイルが選択されます。直前の再生エリア設定にかかわらず、このフォルダが再生エリアになります。また録音を行ったとき、このフォルダにファイルが作成されます。

● CREATE

新たなフォルダを作成する確認のポップアップを表示します。►/IIキーを押すとフォルダが作成され、STOP/HOMEキーを押すと作成が中止されます。
ただし、第2階層のフォルダ上で **"SELECT"** を選択すると、**"Layer too deep."** が表示され、フォルダ作成を受け付けません。

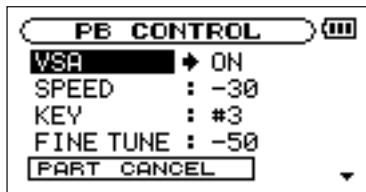
● CANCEL

選択中のフォルダに関する操作をキャンセルします。

第11章　特殊な再生（再生コントロール機能）

本機の再生コントロール機能を使って、再生スピードを変えることができるだけでなく、音程を変えずにスピードを変えたり、逆にスピードを変えずに音程を変えることもできます。また曲中のギター／ベースの音を低減（キャンセル）することができます。これらの再生コントロール機能を使って、練習やフレーズコピーを効果的に行ことができます。

再生コントロール機能を設定する

再生コントロール機能の設定は**PB CONTROL**画面で行います。ホーム画面表示中にPB CONTROLキーを長押しすると、**PB CONTROL**画面が表示されます。

この画面内での設定作業を終えた後、STOP/HOMEキーを押すと（またはPB CONTROLキーを長押しすると）ホーム画面に戻ります。

ホーム画面上部では、現在有効になっている再生コントロール機能のアイコンが反転表示になります。

スピードを変える

SPEED項目を使って再生スピードを設定することができます。ただしスピードを設定しただけではスピードコントロール機能は有効ではありません。設定後、PB CONTROLキーを短く押すと、スピードコントロールがオン（有効）になります。オンにするとホーム画面上部の**SPEED**アイコンが反転します。PB CONTROLキーを短く押すたびにスピードコントロールのオン／オフが切り換わりますので、設定したスピードとノーマルスピードを簡単に切り換えることができます。

スピード可変範囲は**−50 %**〜**+16 %**（1 %刻み）ですので、最も遅いスピード設定では元のスピードの半分になります。

メモ

PB CONTROLキーを短く押すことでオン／オフが切り換わるのは、再生コントロール機能の中のスピード設定機能のみです。他の再生コントロール機能の場合、**PB CONTROL**画面で初期設定以外の値に設定しているとき、常にオンになります。

キーを変えずにスピードを変える

VSA機能（Variable Speed Audition）をオンにすると、スピードを変えても曲のキーが変わりません。
VSA項目を使ってVSA機能のオン／オフを切り換えます（初期設定は**ON**）。

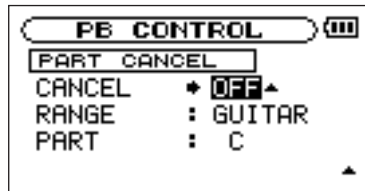
キーだけを変える

KEY項目を使って、スピードを変えずにキーだけを半音単位で変えることができます。
KEY項目では、±6半音の範囲（**♭6**〜**#6**）でキーを上下できます（初期設定は **"0"** ）。
キーを変えると（ **"0"** 以外に設定すると）、キーコントロール機能がオンになり、ホーム画面上の **"KEY"** が反転します。
FINE項目を使うと、キーを微調整することができます。セント（ 半音の1/100 ）単位でキーを上下できます。

メ モ

FINE項目でキーの微調整を行っても、**KEY**項目の設定が **"0"** のときはホーム画面上の **"KEY"** は反転しません。

ギター／ベースの音を低減する

多くの市販の音源（CDなど）の場合、録音されているギター／ベースの音を低減することができます（パートキャンセル機能）。
PART CANCEL項目を使って機能を設定します。ホイールを使って**PART CANCEL**項目を選択すると、**PART CANCEL**画面に変わり、3つのサブ項目が表示されます。

CANCEL項目：（初期設定は**OFF**）**"ON"** に設定するとパートキャンセル機能がオンになり、ホーム画面上の **"P.C"** が反転します。
音源によってはパートキャンセル機能を使ってもギター／ベースのを十分に低減できない場合があります。その場合、以下の2項目の設定を変えることにより、一層効果的に低減できる場合があります。実際

の音を聞きながら、最適な設定を選んでください。

RANGE項目：低減させたい音の音域に合わせて**GUITAR**、**BASS**または**ALL**（全音域）を選択します。初期設定は **"GUITAR"** です。

PART項目：低減させたい音の定位に合わせて設定します（**L10～CENTER～R10**）。初期設定は**CENTER**です。

第12章　ループ再生／リピート再生／1曲再生

通常の再生モードで再生を始めると、再生エリア内の最後まで再生を行った後に停止します。これに対して、本章に述べる操作／設定を行うことにより、ファイル内の希望区間の繰り返し再生、再生エリア内の繰り返し再生、1曲の繰り返し再生、1曲だけの再生を行うことができます。

ループ再生する

以下の手順で、ファイル内の希望の区間を繰り返し再生（ループ再生）することができます。

1. 再生中（または一時停止中）、ループ再生したい区間の始点で**I/O**キーを押します。
   現在位置がIN点（始点）として設定されます。
2. ループ再生したい区間の終点で**I/O**キーを押します。
   現在位置がOUT点（終点）として設定され、IN-OUT点間のループ再生が開始されます。

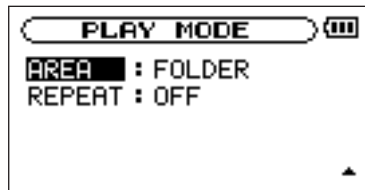
- ホーム画面の再生位置表示バーの下部には、IN点、OUT点それぞれの設定に該当する位置に "◢"、"◣" が点灯します。またループ再生中、I↔O が点灯します。
- ループ再生を中止するには、**LOOP**キーまたは**I/O**キーを押します。
  LOOPキーを押した場合、ループ区間の設定が残り、再び**LOOP**キーを押すとまたループ再生が始まります。
  I/Oキーを押した場合、ループ区間の設定がクリアされます。

メモ

MP3ファイルがVBR形式の場合、正確なIN点、OUT点の指定ができない場合があります。

リピート再生する／1曲再生する

現在の曲（1曲）または再生エリア内の全曲を繰り返し再生（リピート再生）したり、1曲だけ再生することができます。

1. **MENU**キーを押してメニューリスト画面を表示し、**PLAY MODE**を反転して**►/II**キーを押します。

2. **REPEAT MODE**項目で再生モードを選択します。

- OFF：
  通常の再生（再生エリア内の連続再生）を行うモードです。
- SINGLE：
  1曲だけ再生するモードです。リピートは行いません。
  ホーム画面に SINGLE が表示されます。
- 1 REPEAT：
  再生中の曲をリピート再生するモードです。
  ホーム画面に 1 が表示されます。
- ALL REPEAT：
  再生エリアで選択した範囲内の全曲をリピート再生するモードです。
  ホーム画面に ALL が表示されます。

メモ

上記**REPEAT MODE**項目を**OFF**以外に設定しているときにループ再生を実行すると、**REPEAT MODE**が自動的に **"OFF"** になります。

第13章　パソコンから曲を取り込む

本機では、練習やフレーズコピーなどを行う素材として、あるいは後述するオーバーダビング録音のときの再生素材として、パソコンからオーディオファイルをUSB経由で転送することができます。
なお本機で扱うことができるオーディオファイル形式は、MP3（32kbps〜320kbps、44.1kHz／48kHz）およびWAV（44.1／48kHz、16／24ビット）です。

メモ

GT-R1とパソコンをUSB接続する代わりに、GT-R1からSDカードを取り外して直接（あるいはカードアダプターを使って）パソコンにセットしても、同じ操作ができます。

パソコン上にオーディオファイルを準備する

パソコンの機能／ソフトウェアアプリケーションを使って、CDの楽曲などをパソコンに取り込みます。
パソコンに取り込むときに、最終的にGT-R1に取り込むファイルの形式（上記のMP3、WAV）に合わせて、ファイル形式を選んでください。

パソコンからオーディオファイルを取り込む

1. 本機とパソコンを接続します。（ → 30ページ「パソコンを接続する」）
2. パソコン上の **"GT-R1"** ドライブをクリックして開きます。
   UTILITYフォルダ、MUSICフォルダが表示されます。
3. パソコン上の希望のオーディオファイルをMUSICフォルダにドラッグ＆ドロップします。
   オーディオファイルが本機にコピーされます。

ヒント

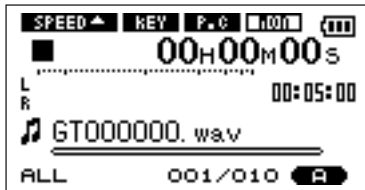
パソコン上の操作で、MUSICフォルダ内を管理することができます。

- MUSICフォルダ内にサブフォルダを作成することができます。サブフォルダは2階層下まで作成できます。本機ではフォルダ内のみを再生範囲に設定することもできますので、取り込む楽曲のカテゴリーや演奏者別に整理しておくと便利です。（ → 55ページ「フォルダ操作」）
- サブフォルダや楽曲に希望の名前を付けておくと、本機の画面に表示されます。

4. コピーを終えたら、パソコン側でGT-R1の接続を解除してから、USBケーブルを抜きます（パソコン側での接続解除方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください）。
   本機が再起動します。

本機にはエフェクターが内蔵されています。
録音時や練習時に入力信号にエフェクトを掛けたり、再生時に再生信号にエフェクトを掛けることができます。
またリズムモード時には、リズムマシンにエフェクトを掛けることもできます。

エフェクターのオン／オフを切り換える

FXキーを短く押すたびにエフェクターのオン／オフが切り換わります。オンにすると、最後に**EFFECT**画面で設定したエフェクトが有効になります。なお、ホーム画面右下のアイコンには選択中のエフェクトバンク（**A**〜**E**）が表示され、エフェクターがオンのとき反転表示になります。

エフェクターを設定する

FXキーを長押しすると**EFFECT**画面が表示されます。

上図のように、**EFFECT**画面には、**SOURCE**、**BANK**、**PRESET**の3つの項目の下にアイコンが並んでします。左のアイコン（下図では**GUITAR**）は現在選択している入力を表示します。四角いボックスアイコンは現在のプリセットで使われるエフェクトモジュールを示します。右の**LVL**アイコンはレベル調整つまみを示します。入力表示アイコン以外はすべて設定項目を持ちますので、上記画面中にホイールを回していくと、エフェクトモジュールや**LVL**つまみのアイコンも反転表示（選択）されます。
なおエフェクトモジュールの種類や数は、選択しているプリセットに応じて変わります。各プリセットに接続されるエフェクトモジュールの種類については「エフェク

タープリセット一覧」（84ページ）をご覧ください。

他の設定画面と見た目が異なりますが、操作方法は同じです。すなわち：

1. ホイールを使って希望の項目を反転（選択）し、►/IIキーを押して確定すると、選択肢／値の設定ができるようになります。
2. ホイールを使って希望の選択肢／値に設定します。
3. 設定後、I◄◄キーを押すと、項目を選択できる状態に戻ります。

SOURCE

エフェクトを入力信号（**INPUT**）に掛けるか、再生信号（**PLAY**）に掛けるかを選択します。

BANK

エフェクトは**A**〜**E**のバンクに分類されています。この項目で選んだバンク内のプリセットを、次の**PRESET**項目で選択します。各バンクにはプリセットが以次のような用途別に収められています。

BANK A〜**C**：ギター用プリセット
BANK D：ベース用プリセット
BANK E：リバーブプリセット

PRESET

選択しているバンク内のプリセットを選択します。プリセットエフェクトの内容についてはエフェクタープリセット一覧」（84ページ）をご覧ください。

エフェクトモジュール

各エフェクトモジュールアイコンを反転表示して►/IIキーを押すと、下図のような複数のパラメータ設定項目を含むポップアップが表示されます。パラメータの種類はモジュールタイプによって異なります。

ポップアップ表示中は、ホイールと►/IIキーを使ってポップアップ内の項目選択および設定を行います。設定後、STOP/HOMEキーを押すとポップアップが消えます。
モジュールタイプ毎のパラメータについては「エフェ

クトモジュールのパラメーター覧」（88ページ）をご覧ください。

LVLつまみ

エフェクト出力レベルを調節します。このアイコンを反転表示して►/❚❚キーを押すと、下図のようなポップアップが表示されますので、レベルを数値で設定（**0**〜**100**）します。このとき、数値に応じて**LVL**つまみアイコンが回転します。

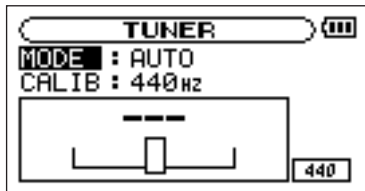
エフェクト画面を終了するには

STOP/HOMEキーを押すと（またはFXキーを長押しすると）、ホーム画面に戻ります。

第15章　チューナーを使う

本機はチューナーを内蔵しています。楽器の音を本機に入力することによって、ディスプレイ上のチューニングメーターを見ながら正確なチューニングができます。また、チューニング用のトーンをΩ/LINE OUT端子から出力することができますので、複数の楽器を同時にチューニングするときなど便利です。

準備する

1. MENUキーを押してメニューリストを表示し、**TUNER**を反転して►/IIキーを押します。

2. **MODE**項目でチューナーモードを選択します。

- **AUTO**モード（クロマチックチューナーモード）
- **GUITAR**モード（ギターチューナーモード）
- **BASS**モード（ベースチューナーモード）
- **OSC.**モード（オシレーターモード）

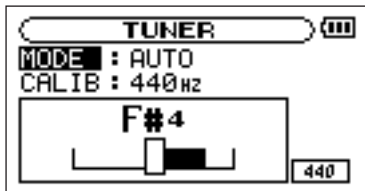
3. **CALIB**項目でA音の基準周波数を435Hz〜445Hzの範囲で設定します。
   設定値は画面右下部に表示されます。
   この設定はすべてのチューナーモードに共通です。

以下にチューナーモード別に操作方法を説明します。

第15章　チューナーを使う

AUTOモード（クロマチックチューナーモード）

通常のモードです。本機のチューニングメーターを見ながら楽器をチューニングすることができます。
画面にはチューニングメーターと入力信号の音名が表示されます（入力がないときの音名表示は **"−−−"** ）。

1. 使用する入力ソースを選択します。（ → 34ページ「入力ソースを選択する」）
2. チューニングする楽器の音を入力します。
   もっとも近い音名がメーター上部に表示されます。
3. 合わせたい音名が表示されて、メーター中央部が点灯するようにチューニングします。
   チューニングが低すぎる場合は左側、高すぎる場合は右側にバーが表示されます。ズレが大きいほど、バーが長く表示されます。

GUITARモード（ギターチューナーモード）

チューニングする弦を変える毎に設定を変えます。

1. **NOTE**項目を使って、チューニングしたい弦（**1E**、**2B**、**3G**、**4D**、**5A**、**6E**）を選択します。
2. メーター中央部が点灯するようにチューニングします。
   チューニングのやり方は**AUTO**モード時と同じです。

BASSモード（ベースチューナーモード）

チューニングする弦を変える毎に設定を変えます。

1. **NOTE**項目を使って、チューニングしたい弦（**1G**、**2D**、**3A**、**4E**、**5B**）を選択します。
2. メーター中央部が点灯するようにチューニングします。
   チューニングのやり方は**AUTO**モード時と同じです。

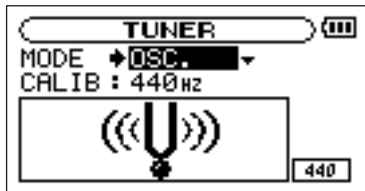
オシレーターモード

内蔵のオシレーターを使って、3オクターブ（C3音〜B5音）の範囲のチューニングトーンをΩ/LINE OUT端子から出力することができます。
オシレーターモードには前述の**CALIB**項目の他に、以下の3つの設定項目があります。

NOTE項目

チューニングトーンの高さ（C3音〜B5音）を選択します。

OUT項目

チューニングトーンを出力するかしないか（**ON**または**OFF**）を選択します。**"ON"** に設定すると、音叉から音が発生しているようなビジュアル表示になります。

クロマチックモードからオシレーターモードに切り換えると、**OUT**項目が自動的に **"ON"** になります。オシレーターモードからクロマチックモードに切り換えると、**OUT**項目が自動的に**"OFF"** になります。

LEVEL項目

チューニングトーンの出力レベル（**0**〜**10**）を設定します。

第16章　リズムマシンを使う

本機はリズムマシンを内蔵しています。リズムマシンには88種類のプリセットパターンが搭載されています。この中にはメトロノームも含まれています。
リズムマシンに合わせてギター／ベースなどの練習をしたり、リズムマシンの音と楽器の音をミックスして録音することができます。

リズムモード

リズムマシンを使うには、本機をリズムモードにする必要があります。ホーム画面表示中、PB CONTROLキーとFXキーを同時に押すと、リズム画面が表示され、本機がリズムモードになります。

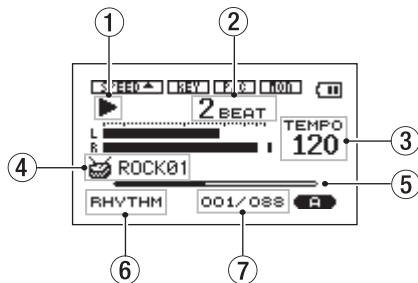
この画面にはリズムマシンに関するさまざまな情報が表示されるとともに、リズムマシンのスタート／ストップ、テンポ設定、パターン選択ができます。またリズム画面表示中、リズムマシンと入力信号をミックスして録音することができます。
リズムモード中にPB CONTROLキーとFXキーを同時に押すと、リズムモードを終了し、ホーム画面に戻ります。

メモ

- リズムモードではSDカード上の音楽ファイルを再生することができません。
- リズムモード中に**BROWSE**画面あるいは**PLAYLIST**画面を使ってオーディオファイルを選択し、ポップアップ表示の **"PLAY"** を選択すると、リズムモードを終了してホーム画面に戻ります。（→47ページ「第9章　再生エリアとプレイリスト」）

リズム画面の表示内容

停止時および再生時

ここでいう停止時とは、リズムモード中でリズムマシンが停止しているときを言います。また再生時とは、（オーディオファイルの録音を行わずに）リズムマシンが再生しているときを言います。

電源、入力モニターの設定状態、およびエフェクターのオン／オフ状態の表示は、ホーム画面と同じです。また画面上部には、録音待機中および録音中は録音画面と同じ「INT/MIC INの設定状態」、それ以外のときはホーム画面と同じ「入力モニターの設定状態」が表示されます。これらの他に以下のリズム画面特有の表示があります。

① **再生／停止表示**
リズムマシン再生中は►、停止中は■を表示します。

② **ビート位置**
小節内におけるビートの位置を表示します。

③ **テンポ**
現在のテンポをBPM（1分あたりの拍数）で表示します。

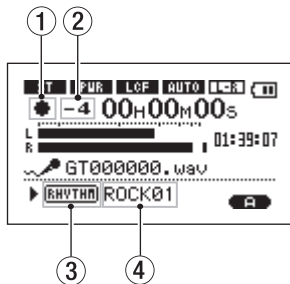
④ **パターン名**
現在選ばれているリズムパターンの名前を表示します。

⑤ **ビート位置**
小節内のビート位置をバー表示します。

⑥ **RHYTHM表示**
この画面がリズム画面であることを示します。

⑦ **パターン番号／パターン総数**
リズムパターン総数（88）および現在選ばれているリズムパターンの番号を表示します。

● 録音時

ここでいう録音時とは、リズムマシンを再生しながらオーディオファイルを録音するときを言います。このとき、リズムマシンと入力信号の両方の音がミックスされて録音されます。

録音中は通常のモードでの録音画面とほとんど同じ画面が表示されますが、以下の点が異なります。

① 録音表示

録音中、●を表示します。

② カウントイン

録音開始時のカウントインを表示します。カウントインが終わると消えます。

③ RHYTHM表示

この画面がリズム画面であることを示します。

④ パターン名

現在選ばれているリズムパターンの名前を表示します。

メ モ

録音待機時は通常のモードでの録音待機画面と同じ内容が表示されます。

リズム画面での操作

リズム画面表示中、以下の操作を行うことができます。

- ►/❚❚キーを押すたびにリズムマシンのスタート／ストップが切り換わります。

メモ

ストップ後に再スタートしたとき、リズムパターンの頭からスタートします。

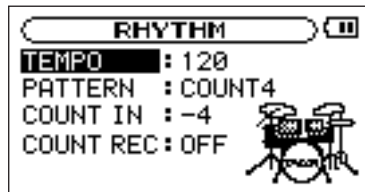
- ホイールを使ってテンポを設定します。
  20～**250**（BPM）の範囲で設定できます。
- ⏮／⏭キーを使ってプリセットのリズムパターンを選択します。
  リズムパターンの一覧は94ページをご覧ください。

メモ

- 後述する**RHYTHM**設定画面でテンポとリズムパターンを設定することもできます。
- リズムパターンを編集することはできません。

リズムマシンを設定する

RHYTHM設定画面を使って、テンポ、リズムパターン、カウントイン、カウントレックを設定することができます。

RHYTHM設定画面を表示するには、リズム画面表示中に**PB CONTROL**キーを押します。

この画面には4つの設定項目があります。これらのうち、テンポとリズムパターンはリズム画面から設定することもできます。（ → 71ページ「リズム画面での操作」）

RHYTHM設定画面の操作方法は他の設定画面と同じです。すなわち：

1. ホイールを使って希望の項目を反転（選択）し、►/❚❚キーを押して確定すると、値を選択できるようになります。
2. ホイールを使って希望の値を選択します。
3. 選択後、⏮キーを押すと、項目を選択できる状態に戻ります。

テンポを設定する（TEMPO）

リズムマシンのテンポを**20**〜**250**（BPM＝1分あたりの拍数）の範囲で設定できます。

リズムパターンを選択する（PATTERN）

リズムマシンのパターンを88種類のプリセットの中から選択できます。
リズムパターンの詳細については「リズムパターン一覧」(94ページ）をご覧ください。

メモ

- リズムパターンを編集することはできません。
- パターン**COUNT1**〜**COUNT9**を選択することにより、リズムマシンをメトロノームとして使うことができます

カウントインを設定する（COUNT IN）

パターンがスタートする前のカウントインを設定します。
−9〜**+9**の範囲で設定できます。
数値（**0**〜**9**）はカウントの拍数を表します。
＋／−はリズムモードで録音を行うときの録音開始点の設定です。**"−"**（マイナス）のときはカウントインの後から録音を開始し、**"+"** のときはカウントと同時に録音が開始されます。（ → 75ページ「リズムに合わせて行う演奏を録音する」）

カウントレックを設定する（COUNT REC）

リズムマシンの音を録音するときにカウントインを録音するかどうかの設定です。
"ON" に設定すると録音されます。**"OFF"** に設定すると録音されません。（ → 75ページ「リズムに合わせて行う演奏を録音する」）

リズムマシンに合わせて演奏する

リズム画面表示中、リズムマシンに合わせて練習ができるほかに、リズムマシンと入力信号をミックスして録音することができます。

準備する

リズムマシンに合わせて演奏する前に、入力の準備、リズムマシンの設定、モニターモードの変更などを行う必要があります。

1）入力を準備する

入力の選択および必要に応じて機能設定を行います。詳細は「第7章　録音する」の中の「入力ソースを選択する」（34ページ）、「INT/MIC INの機能を設定する」（36ページ）、「内蔵マイクの角度を調節する」（38ページ）をご覧ください。

メモ

入力の準備の前にリズムモードにしてもかまいません。

2）リズムモードにする

ホーム画面表示中、PB CONTROLキーとFXキーを同時に押して、本機をリズムモードにします。リズム画面が表示されます。

3）リズムマシンを設定する

リズムマシンのリズムパターン、テンポを設定します。また必要に応じてカウントインに関する設定を行います。設定方法の詳細は「リズムマシンを設定する」（71ページ）をご覧ください。

4）モニターモードを変更する

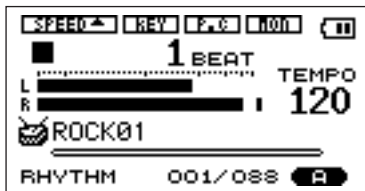
リズムマシンと入力ソース（ギター／ベースあるいは他の楽器や歌など）の両方の音をモニターしながらリズムに合わせて、練習や録音を行う場合、あらかじめ**SETTING**画面の**MONITOR**項目を**ON**に設定しておく必要があります。

この項目が**OFF**だと、（録音待機中または録音中以外に）入力信号をモニターすることができません。

1. SETTINGキーを押して**INPUT SETTING**画面を表示します。

2. ホイールを使って**MONITOR**項目を反転し、►/**II**キーを押します。
3. ホイールを使って **"ON"** を選択します。
   この状態で、常に入力信号をモニターできるようになります。
   すなわち、リズムモード時はリズムマシンと入力ソースのミックス信号をモニターできます。
4. STOP/HOMEキーを押して、リズム画面に戻します。

5）入力レベルを調節する

右サイドパネルのINPUTボリュームを使って、入力レベルを調節します。

PEAKインジケーターが点灯する場合は、入力をレベルを下げてください。
また、L/Rメーターの一番右のドットが点灯する場合は、**INPUT**ボリュームを使って入力レベルを下げるか、エフェクトを使用している場合は、**EFFECT**画面内の出力レベル（**LVL**）を下げてください。

- 入力ソースとして**GUITAR**を選択しているとき、アクティブタイプ（電池内蔵タイプ）のギター／ベースを接続して音が歪む場合は、ギター／ベース側のボリュームを絞ってください。
- 入力ソースとして**INT/MIC**を選択して内蔵マイクまたはMIC INを使っているとき、INPUTボリュームを最大にしてもレベルが低い場合は、**INT/MIC IN**の機能設定画面で**GAIN**項目をより高い設定にしてください。（ → 36ページ「INT/MIC INの機能を設定する」）
- 入力ソースとして **"LINE"** を選択した場合、入力のレベルはソース側で調節してください。

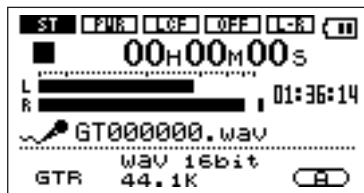
リズムに合わせて練習する

以下の手順は、上記「準備する」で述べた準備が整っていて、リズム画面が表示されていることを前提としています。

1. ►/❚❚キーを押して､リズムマシンをスタートさせます。
2. リズムマシンに合わせて、演奏します。
3. 必要に応じて、MIX BALANCEキーを使ってリズムマシンの音量を増減することによって、リズムマシンと入力信号のバランスを調節します。
   調整中（MIX BALANCEキー操作中)、リズムマシンのボリュームがディスプレイの下部にバー表示されます。
4. 演奏を終えたら、►/❚❚キーを押してリズムマシンを停止します。

リズムに合わせて行う演奏を録音する

リズムマシンに合わせて行う演奏を録音することができます。このとき、リズムマシンと演奏（入力信号）のミックス信号が録音されます。
以下の手順は、上記「準備する」で述べた準備が整っていて、リズム画面が表示されていることを前提としています。

1. REC/PAUSEキーを押します。

上記のような録音画面が表示されます。
このときREC/PAUSEキーは点滅しています。

2. 再度**REC/PAUSE**キーを押します。
リズムマシンがスタートし、録音が始まります。録音が始まると**REC/PAUSE**キーが点灯に変わります。
下記のような画面に変わります。

メ モ

- リズムモードで録音をする場合、ファイル形式を **"WAV"** に設定してください（ → 33ページ「ファイル形式／サンプリング周波数を選択する」）。ファイル形式をMP3に設定した状態で録音を開始しようとすると、メッセージ（**Format is MP3**）が表示され、操作を受け付けません。
- リズムモードで録音をする場合、SAMPLE周波数は44.1KHz固定となります。（SAMPLE周波数が48KHzに設定されていても録音時のSAMPLE周波数は、自動で44.1KHzになります。）

カウントインおよびカウントレックの設定によって、録音開始のタイミングおよびカウントインの録音の有無が変わります。（ → 71ページ「リズムマシンを設定する」）

- **COUNT IN**を**−**（マイナス）値に設定すると、COUNT RECの設定に関わらず、カウントイン後に録音が始まります。
- **COUNT REC**を**ON**、**COUNT IN**を**+**（プラス）値に設定すると、カウントイン手前から録音が始まり、カウントインも録音されます。
- **COUNT REC**を**OFF**、**COUNT IN**を**+**（プラス）値に設定すると、カウントイン手前から録音が始まりますが、カウントインは録音されません。

3. リズムマシンに合わせて演奏を行います。

4. 演奏が終わったら**STOP/HOME**キーを押します。
リズムマシンが停止し、録音ファイルが作成されます。

メ モ

- リズムモードでの録音中（および録音待機中）は、**►/II**キーが働きません。
- 録音したファイルを再生するにはリズムモードを終了する必要があります。

5. **PB CONTROL**キーと**FX**キーを同時に押してリズムモードを終了します。

ホーム画面が表示されます。

6. **►/II**キーを押すと、録音したファイルが再生されます。

リズムマシンにエフェクトを掛ける

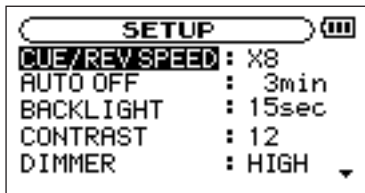
リズムマシンにリバーブなどの内蔵エフェクトを掛けることができます。これを行うには、**EFFECT**画面の**SOURCE**を**PLAY**に設定します。エフェクター設定の詳細については「第14章　内蔵エフェクターを使う」（62ページ）をご覧ください。

メ モ

- リズムマシンにエフェクトを掛けた場合、モニターだけでなく、リズムマシン録音時にもエフェクトが掛かった状態で録音されます。
- リズムマシンと入力信号の両方にエフェクトを掛けて録音することはできません。

第17章　環境設定など

使用環境や条件に合わせて本機を快適に使うためのさまざまな設定、およびイニシャライズやフォーマットを、セットアップ画面で行います。

セットアップ画面を表示するには、MENUキーを押してメニューリストを表示し、**SETUP**を反転して►/❚❚キーを押します。

SETUP画面の各項目で、以下の設定を行うことができます。

早送り／早戻しスピードの設定

CUE/REV SPEED項目で、オーディオファイル再生中に⏮／⏭キーを押したままにしたときの早送り／早戻しのスピードを設定します。

選択肢：**x2**、**x4**、**x8**（初期設定）、**x10**

電源のオートオフ設定

AUTO OFF項目で、バッテリー駆動時、最後に動作あるいは操作してから自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します。

選択肢：**OFF**（初期設定、自動オフしない）、**3min**、**5min**、**10min**、**30min**

バックライトのオートオフ設定

BACKLIGHT項目で、バッテリー駆動時、最後に操作してから自動的にバックライトが消灯するまでの時間を設定します。

選択肢：**OFF**（自動消灯しない）、**5sec**（初期設定）、**10sec**、**15sec**、**30sec**

ディスプレイコントラストの調整

CONTRAST項目で、ディスプレイのコントラストを調整します。

選択肢：**1**～**20**（初期設定：**8**）

バックライトの輝度調整

DIMMER項目で、バックライトの輝度を調整することができます。

選択肢：**HIGH**（初期設定）、**LOW**、**OFF**（点灯しない）

初期設定に戻す

INITIALIZE項目でイニシャライズを実行することにより、本機のさまざまな設定を初期状態に戻すことができます。

1. **INITIALIZE**を反転して►/❚❚キーを押すと、**"Exec"** が反転します。
2. ►/❚❚キーを押すと、確認のポップアップウィンドウが表示されます。
3. ►/❚❚キーを押して、イニシャライズを実行します。
   イニシャライズしない場合はSTOP/HOMEキーを押します。

クイックフォーマットする

QUICK FORMAT項目で、SDカードをクイックフォーマットします。
クイックフォーマットを行うと、カード上のすべての音楽ファイルが消去され、**MUSIC**フォルダ、**UTILITY**フォルダおよび **dr-1.sys** が自動生成されます。工場出荷時に記録されている**MANUAL**フォルダと取扱説明書のPDFファイルは消去されます。

1. **QUICK FORMAT**項目を選択して►/❚❚キーを押すと、**"Exec"** が反転します。
2. ►/❚❚キーを押すと、確認のポップアップウィンドウが表示されます。
3. ►/❚❚キーを押して、クイックフォーマットを実行します。
   クイックフォーマットしない場合はSTOP/HOMEキーを押します。

フルフォーマットする

FULL FORMAT項目で、SDカードをフルフォーマットします。

フルフォーマットを行うと、カード上のすべての音楽ファイルが消去され、**MUSIC**フォルダ、**UTILITY**フォルダおよび **dr-1.sys** が自動生成されます。工場出荷時に記録されている**MANUAL**フォルダと取扱説明書のPDFファイルは消去されます。

フルフォーマットではメモリーのエラーをチェックしながらフォーマットを実行します。

クイックフォーマットと比べて多くの時間が掛かりますので、終了するまでしばらくお待ちください。

1. **FULL FORMAT**項目を選択して►/❚❚キーを押すと、**"Exec"** が反転します。
2. ►/❚❚キーを押すと、確認のポップアップウィンドウが表示されます。
3. ►/❚❚キーを押して、フルフォーマットを実行します。フルフォーマットしない場合は**STOP/HOME**キーを押します。

ご注意

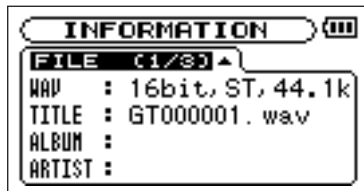
フォーマットの実行は、別売のACアダプターを使用するか、バッテリーの残量が十分な状態で行ってください。
フォーマット中にバッテリー切れになると、正常なフォーマットができない場合があります。

インフォメーション画面で、本機の各種情報を見ることができます。

インフォメーション画面を表示するには、MENUキーを押してメニューリストを表示し、**INFORMATION**を反転して►/❚❚キーを押します。

インフォメーション画面には以下の3ページがあります。ホイールを使ってこれらのページを切り換えることができます。

- ファイル情報ページ（**FILE**）：
  再生中のオーディオファイルの情報を表示
- メモリー情報ページ（**MEMORY**）：
  セットしているSDカードの使用状況を表示
- システム情報ページ（**SYSTEM**）：
  本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンを表示

ファイル情報ページ

FILEページでは、再生中のファイルの情報を表示します。

WAVまたはMP3項目：

オーディオファイルの形式を表示します。

WAVファイルの場合、ビット長、ステレオ／モノラル、サンプリング周波数（Hz）を表示します。

MP3ファイルの場合、ビットレート（kbps）、CBR／VBR、サンプリング周波数（Hz）を表示します。

（CBR：固定ビットレート、VBR：可変ビットレート）

TITLE項目：

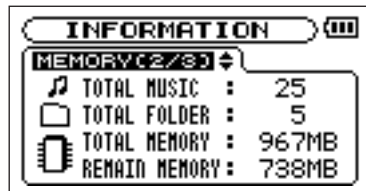
ファイル名を表示します。
MP3ファイルでID3TAGのタイトル情報がある場合は、その情報を表示します。

ALBUM項目：

MP3ファイルのID3TAGのアルバム情報を表示します。WAVファイルおよびID3TAG情報がないMP3ファイルの場合は、なにも表示しません。

ARTIST項目：

MP3ファイルのID3TAGのアーティスト情報を表示します。WAVファイルおよびID3TAG情報がないMP3ファイルの場合は、なにも表示しません。

メモリー情報ページ

MEMORYページでは、セットしているSDカードの使用状況を表示します。

TOTAL MUSIC：

MUSICフォルダ内にある再生可能なファイル数を表示します。

TOTAL FOLDER：

MUSICフォルダ内にあるフォルダ数を表示します。

TOTAL MEMORY：

SDカードの総メモリー容量を表示します。

REMAIN MEMORY：

SDカードの残容量を表示します。

システム情報ページ

SYSTEMページでは、本機のシステムの設定情報、ファームウェアバージョンを表示します。

CUE/REV SPD：

送り／早戻しのスピードを表示します。

AUTO OFF：

電源のオートオフ設定を表示します。

BACKLIGHT：

バックライトのオートオフ設定を表示します。

System Ver.：

システムファームフェアのバージョン情報を表示します。

第19章　エフェクタープリセット一覧

Guitar Preset

No	Name	Module1	Module2	Module3
1	TexasBoy	G.AMP	COMPRESSOR	REVERB
2	N.Y.Rock	G.AMP	COMPRESSOR	REVERB
3	U.K.Rock	G.AMP	CHORUS	REVERB
4	J.Beck70	G.AMP	FLANGER	DELAY
5	MetalBoy	G.AMP	ENHANCER	REVERB
6	MetalBoy2	G.AMP	ENHANCER	REVERB
7	N.Y.Blues	G.AMP	COMPRESSOR	REVERB
8	N.Y.Blues2	G.AMP	CHORUS	REVERB
9	Delta	G.AMP	ENHANCER	REVERB
10	L.A.Blues	G.AMP	ENHANCER	REVERB
11	BoxMan	G.AMP	FLANGER	DELAY
12	FunkMan	G.AMP	AUTO WAH	DELAY
13	FunkMan2	G.AMP	AUTO WAH	DELAY
14	WithBass	G.AMP	PITCH SHIFTER	REVERB
15	TexasFunk	G.AMP	FLANGER	REVERB
16	80s	G.AMP	PHASE SHIFTER	REVERB
17	MorningJazz	G.AMP	CHORUS	REVERB
18	EveningJazz	G.AMP	FLANGER	REVERB
19	AutumnWind	G.AMP	FLANGER	REVERB

Guitar Preset

No	Name	Module1	Module2	Module3
20	Let it Guitar	G.AMP	PHASE SHIFTER	REVERB
21	Leslie.G	G.AMP	FLANGER	DELAY
22	Standard.G	G.AMP	COMPRESSOR	REVERB
23	F-Comp	COMPRESSOR	CHORUS	REVERB
24	WarmClean	COMPRESSOR	CHORUS	REVERB
25	WarmPhase	COMPRESSOR	PHASE SHIFTER	REVERB
26	Space	COMPRESSOR	CHORUS	REVERB
27	Chorus.G	G.AMP	CHORUS	REVERB
28	Flanger.G	G.AMP	FLANGER	DELAY
29	Panning.G	G.AMP	TREMOLO	REVERB
30	Tremolo.G	G.AMP	TREMOLO	DELAY
31	AutoWah.G	G.AMP	AUTO WAH	DELAY
32	AC.G	COMPRESSOR	CHORUS	REVERB
33	AC.G2	COMPRESSOR	CHORUS	DELAY

Bass Preset

No	Name	Module1	Module2	Module3
34	Standard.B	B.AMP	COMPRESSOR	DELAY
35	Rock Bass	B.AMP	COMPRESSOR	DELAY
36	H/R Bass	B.AMP	COMPRESSOR	CHORUS
37	Metal Bass	B.AMP	COMPRESSOR	CHORUS
38	Slap Bass	B.AMP	COMPRESSOR	ENHANCER
39	Cool Slap	B.AMP	COMPRESSOR	CHORUS
40	Funk Bass	B.AMP	COMPRESSOR	AUTO WAH
41	Walking	B.AMP	COMPRESSOR	—
42	Power Bass	B.AMP	COMPRESSOR	FLANGER
43	Fat Bass	B.AMP	COMPRESSOR	PHASE SHIFTER
44	Chorus.B	COMPRESSOR	CHORUS	REVERB
45	Flanger.B	COMPRESSOR	FLANGER	REVERB
46	Phase.B	COMPRESSOR	PHASE SHIFTER	REVERB
47	AutoWah.B	COMPRESSOR	AUTO WAH	DELAY

Reverb Preset

No	Name	Module1	Module2	Module3
48	Reverb Hall	—	—	ST REVERB
49	Reverb Room	—	—	ST REVERB
50	Reverb Live	—	—	ST REVERB

Drum Preset

No	Name	Module1	Module2	Module3
51	Drum1	G.AMP	—	—
52	Drum2	—	FLANGER	—
53	Drum3	—	ENHANCER	—
54	Drum4	B.AMP	COMPRESSOR	CHORUS
55	Drum5	B.AMP	COMPRESSOR	PHASE SHIFTER

第20章　エフェクトモジュールのパラメーター覧

ギター／ベース エフェクト

モジュール	効果	パラメーター	パラメーター内容	値域
G.AMP (AMP)	3種類のプリアンプの音色と9種類のキャビネットを組み合わせることにより、様々なギターアンプの音をシミュレートすることができます。	GAIN	ゲインレベルを調節します。	0~20
		AMP	プリアンプの音色を選択します。	1~3*
		CAB	キャビネットのタイプを選択します。	1~9**
		LVL	出力レベルを調節します。	0~20
B.AMP (AMP)	3種類のプリアンプの音色と8種類のイコライザセッティングを選ぶことができます。	GAIN	ゲインレベルを調節します。	0~10
		AMP	プリアンプの音色を選択します。	1~3*
		EQ	イコライザのタイプを選択します。	1~8***
		LVL	出力レベルを調節します。	0~20
COMPRESSOR (CMP)	入力音の粒立ちを揃えるとともにサスティーンが得られます。	COMP	効果の深さを調節します。	0~30
		ATK	立ち上がりの速さを調節します。 値を大きくするほど立ち上がりが遅くなります。	0~20
		LVL	コンプレッサーの音量を調節します。	0~20
		SW	エフェクトのオン／オフを設定します。 0：オフ ／ 1：オン	0,1

ギター／ベース エフェクト

モジュール	効果	パラメーター	パラメーター内容	値域
CHORUS (CHO)	原音に微妙に音程のずれた音を加えることで、音に厚みや広がりを与えます。	SPD	コーラス効果の速さを調節します。	0〜20
		DPTH	コーラス効果の深さを調節します。	0〜20
		LVL	エフェクト音の音量を調節します。	0〜20
		SW	エフェクトのオン／オフを設定します。 0：オフ ／ 1：オン	0,1
FLANGER (FLA)	原音に遅れた音を加えることにより、うねりのあるフランジング効果が得られます。	SPD	イコライザのタイプを選択します。	0〜20
		DPTH	出力レベルを調節します。	0〜20
		RES	効果の深さを調節します。	0〜20
		SW	エフェクトのオン／オフを設定します。 0：オフ ／ 1：オン	0,1
PHASE SHIFTER (PHA)	原音に位相のずれた音を加えることにより、ロータリースピーカーのような回転感のあるフェイジング効果が得られます。	SPD	回転の速さを調節します。	0〜20
		RES	効果にクセをつけます。 値を大きくするほどクセが強くなります。	0〜20
		SW	エフェクトのオン／オフを設定します。 0：オフ ／ 1：オン	0,1

第20章　エフェクトモジュールのパラメーター覧

ギター／ベース エフェクト

モジュール	効果	パラメーター	パラメーター内容	値域
TREMOLO (TRM)	音量に周期的な揺れを与えます。	SPD	周期の速さを調節します。	0〜20
		DPTH	揺れの深さを調節します。	0〜20
		WAVE	変化の波形を調節します。	0〜20
		MODE	1：トレモロ 2：オートパン	1,2
		SW	エフェクトのオン／オフを設定します。 0：オフ ／ 1：オン	0,1
ENHANCER (ENH)	原音に倍音成分を加えることで音の輪郭をはっきりさせ、きらびやかなサウンドが得られます。	FREQ	効果が表れる最低周波数を調節します。	0〜20
		LVL	エフェクト音の音量を調節します。	0〜20
		SW	エフェクトのオン／オフを設定します。 0：オフ ／ 1：オン	0,1

第20章　エフェクトモジュールのパラメーター覧

ギター／ベース エフェクト

モジュール	効果	パラメーター	パラメーター内容	値域
AUTO WAH (WAH)	ピッキングの強弱に応じて自動的にワウ効果が得られます。	SENS	ピッキングの強弱に対する感度を調節します。	0～20
		MODE	音色を選択します。 1：LPF型 ／ 2：BPF型 ／ 3：HPF	1,2,3
		MIX	原音の音量を調節します。 値を大きくすると原音の音量が大きくなります。	0～10
		SW	エフェクトのオン／オフを設定します。 0：オフ ／ 1：オン	0,1
PITCH SHIFTER (PIT)	音程を変化させるエフェクトです。	PIT	半音単位音程を調節します。 (±1オクターブ)	−12～+12
		FINE	セント単位で音程を調節します。 (±50セント)	−50～+50
		LVL	エフェクト音の音量を調節します。	0～20
		SW	エフェクトのオン／オフを設定します。 0：オフ ／ 1：オン	0,1

第20章　エフェクトモジュールのパラメーター覧

ギター／ベース エフェクト

モジュール	効果	パラメーター	パラメーター内容	値域
DELAY (DLY)	原音に遅れた音を加えることで、音に厚みを与えたり、やまびこのような効果を与えます。	TIME	エフェクト音の遅れ時間を調節します。	0～50
		F/B	繰り返し音の音量を調節します。 値を大きくすると繰り返し音が長く持続します。	0～20
		LVL	エフェクト音の音量を調節します。	0～20
		SW	エフェクトのオン／オフを設定します。 0：オフ ／ 1：オン	0,1
REVERB (REV)	残響効果を作り出し、広がり感を与えます。	TIME	残響音の持続時間を調節します。	0～20
		LVL	エフェクト音の音量を調節します。	0～20
		SW	エフェクトのオン／オフを設定します。 0：オフ ／ 1：オン	0,1

リバーブ エフェクト

モジュール	効果	パラメーター	パラメーター内容	値域
REVERB (REV)	残響効果を作り出し、広がり感を与えます。	LVL	エフェクト音の音量を調節します。	0～20

＊プリアンプの音色を選択します。

1	クリーン（Clean）
2	オーバードライブ（Overdrive）
3	ハイゲイン（Hi-Gain）

＊＊キャビネットを選択します。

1	12インチ×2：クリーンサウンドにマッチ
2	12インチ×1：フラットで癖のないサウンド
3	12インチ×2：トレブリーで歯切れの良いサウンド
4	12インチ×2：伝統的なブリティッシュサウンド
5	12インチ×2：ハイゲインサウンドにマッチ
6	12インチ×1：
7	12インチ×1：
8	12インチ×2：オーバードライブサウンドにマッチ
9	12インチ×2：ハイゲインサウンドにマッチ

＊＊＊イコライザの設定を選択します。

1	フラットで癖のない設定
2	低域、高域を若干ブーストした Hi-Fi な設定
3	スタンダードなロック向きの設定
4	ドンシャリのハードロック向きの設定
5	スラップ奏法向きの設定
6	指弾き奏法向きの設定
7	低音を強調したファットな設定
8	スタンダードなベースアンプ風の設定

第21章　リズムパターン一覧

No	プリセット名	拍子
001	STANDARD01	4/4
002	STANDARD02	4/4
003	STANDARD03	4/4
004	ROCK01	4/4
005	ROCK02	4/4
006	ROCK03	4/4
007	ROCK04	4/4
008	ROCK05	4/4
009	ROCK06	4/4
010	ROCK07	4/4
011	ROCK08	4/4
012	ROCK09	4/4
013	ROCK10	4/4
014	ROCK11	4/4
015	ROCK12	4/4
016	ROCK13	4/4
017	ROCK14	4/4
018	POP01	4/4
019	POP02	4/4
020	POP03	4/4

No	プリセット名	拍子
021	POP04	4/4
022	POP05	4/4
023	POP06	4/4
024	POP07	4/4
025	POP08	4/4
026	POP09	4/4
027	POP10	4/4
028	POP11	4/4
029	POP12	4/4
030	SHUFFLE01	4/4
031	SHUFFLE02	4/4
032	SHUFFLE03	4/4
033	TRIPLE01	4/4
034	TRIPLE02	4/4
035	TRIPLE03	4/4
036	TRIPLE04	12/8
037	BOUNCE01	4/4
038	BOUNCE02	4/4
039	BOUNCE03	4/4
040	BALLADE01	4/4

No	プリセット名	拍子
041	BALLADE02	4/4
042	16BEAT01	4/4
043	16BEAT02	4/4
044	16BEAT03	4/4
045	16BEAT04	4/4
046	16BEAT05	4/4
047	16BEAT06	4/4
048	16BEAT07	4/4
049	16BEAT08	4/4
050	16BEAT09	4/4
051	16BEAT10	4/4
052	16BEAT11	4/4
053	COUNTRY01	4/4
054	COUNTRY02	4/4
055	COUNTRY03	3/4
056	COUNTRY04	4/4
057	COUNTRY05	4/4
058	COUNTRY06	4/4
059	DANCE01	4/4
060	DANCE02	4/4

No	プリセット名	拍子
061	DANCE03	4/4
062	DANCE04	4/4
063	DANCE05	4/4
064	DANCE06	4/4
065	DANCE07	4/4
066	DANCE08	4/4
067	DANCE09	4/4
068	DANCE10	4/4
069	JAZZ01	4/4
070	JAZZ02	4/4
071	JAZZ03	4/4
072	JAZZ04	4/4
073	LATIN01	4/4
074	LATIN02	4/4
075	WORLD01	4/4
076	WORLD02	4/4
077	WORLD03	4/4
078	WORLD04	4/4
079	WORLD05	4/4
080	COUNT1	1/4

No	プリセット名	拍子
081	COUNT2	2/4
082	COUNT3	3/4
083	COUNT4	4/4
084	COUNT5	5/4
085	COUNT6	6/4
086	COUNT7	7/4
087	COUNT8	8/4
088	COUNT9	9/4

第22章　GT-R1メッセージ一覧

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。

GT-R1では状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内　容　と　対　処　方　法
File not found	「ファイルが見つかりません。」 対象の音楽ファイルが見つからないかファイル内容が壊れている場合に表示されます。 対象の音楽ファイルを確認してください。
Non-Supported	「ファイルの形式がサポート対象外です。」 対象の音楽ファイルの形式が対象外である場合に表示されます。 対象ファイルのエンコード形式を確認してください。
Battery Empty	「バッテリーが空です。」 バッテリーがほとんど空の状態に表示されます。 USB またはACアダプターを接続し充電してください。
I/O Too Short	「IN ポイントとOUTポイントが近すぎます。」 I/Oキーでループ再生に入ろうとするときINポイントとOUTポイントが近すぎると表示されます。 INポイントとOUTポイントを設定し直してください。
File Not Found PLAYLIST	「プレイリスト上のファイルが見つかりません。」 プレイリストに登録されているファイルが見つかりません。 MUSICフォルダに対象のファイルがあるか確認してください。

メッセージ	内　容　と　対　処　方　法
No PLAYLIST	「プレイリストがありません。」 プレイモードを「PLAYLIST」にした場合、プレイリストにファイルが一つも登録されていない場合に表示されます。 プレイリストへファイルを登録してください。詳しくは取扱説明書50ページ「プレイリストに登録する」をお読みください。
PLAYLIST FULL	「プレイリストが一杯です。」 プレイリストに99曲登録された状態で新たにファイルを登録しようとしたとき表示されます。 プレイリストから不要なファイルを削除してください。 詳しくは取扱説明書51ページ「プレイリストを編集する」をお読みください。
MBR Error Init CARD	「カードの初期化が不正です。」 カードのフォーマットが異常、もしくは壊れています。 「Are you Sure?」表示の状態で►/❚❚キーを押すことでカード全域がFATでフォーマットされます。 **注 意** ：FATフォーマットが実行されるとカード内のデータはすべて消去されます。
Format Error Format CARD	「カードのフォーマットが不正です。」 カードのFATフォーマットが異常、もしくは壊れています。 このメッセージはUSB接続したパソコンからFATでフォーマットした場合や新規購入のカードを挿入した場合でも表示されます。FATフォーマットは必ず製品本体で行う必要があります。 「Are you Sure?"」表示の状態で►/❚❚キーを押すことでカード全域がFATでフォーマットされます。 **注 意** ：FATフォーマットが実行されるとカード内のデータはすべて消去されます。

第22章　GT-R1メッセージ一覧

メッセージ	内　容　と　対　処　方　法
Not Found File Make Sys File	「システムファイルがありません。」 本機を使用するために必要なシステムファイルがない場合に表示されます。 Are you Sure?表示の状態で►/❚❚キーを押すことでシステムファイルが自動的に作られます。
Invalid SysFile Make Sys File	「システムファイルが不正です。」 本機を使用するために必要なシステムファイルが異常、もしくは壊れています。 「Are you Sure?」表示の状態で►/❚❚キーを押すことで現在のファイルは破棄され、正常なシステムファイルで自動的に上書きされます。
Invalid Card Change Card	カードが何らかのエラーとなってしまう場合に表示されます。
Protected Card Change Card	MUSICフォルダなど所定のフォルダ、ファイルがない状態でカードにプロテクトが掛かっていると起動時に表示します。
Write Timeout	カードへの書き込みが間に合いませんでした。 ファイルをPCへバックアップの上、フォーマットを実行してください。
Card Full	カードの残容量がありません。 不要なファイルを削除するかPCへ移動してください。
Max File Size	ファイルのサイズが指定のサイズを超えました。 あるいは録音時間が24時間を超えました。
File Full	フォルダとファイルの総数がすでに999個です。 不要なファイルを削除するかPCへ移動してください。

第22章　GT-R1メッセージ一覧

メッセージ	内　容　と　対　処　方　法
Card Error	カードによる何らかのエラー いったん電源を切り、カードを正常なものと差し替える必要があります。
Not Continued	これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れなおしてください。 これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談ください。
File Error	
FX Rx Failed	
FX Busy	
Can't Save Data	
Player Error	
Device Error	
Writing Failed	
Sys Rom Err	
FX Init Err	
System Err 50	
System Error 1	
System Error 2	
System Error 3	

第22章　GT-R1メッセージ一覧

メッセージ	内容と対処方法
System Error 4	これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れなおしてください。 これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談ください。
System Error 5	
System Error 6	
System Error 7	
System Error 8	
System Error 9	

オーディオ入出力定格

● GUITAR IN入力

端子：　標準ホンジャック（モノ、不平衡）

入力インピーダンス：　1MΩ以上

基準入力レベル：　－26dBV

最大入力レベル：　－10dBV

● MIC IN入力

端子：　3.5mmミニホンジャック（ステレオ）（プラグインパワー対応）

入力インピーダンス：　30KΩ

● GAIN HIGH時

基準入力レベル：　－64dBV

最大入力レベル：　－48dBV

● GAIN MID時

基準入力レベル：　－48dBV

最大入力レベル：　－32dBV

● GAIN LOW時

基準入力レベル：　－32dBV

最大入力レベル：　－16dBV

● LINE IN入力

端子：　3.5mmミニホンジャック（ステレオ）

入力インピーダンス：　23KΩ

基準入力レベル：　－10dBV

最大入力レベル：　＋6dBV

● Ω/LINE OUT出力

端子：　3.5mmミニホンジャック（ステレオ）

● ライン接続時

基準出力レベル：　－14dBV

最大出力レベル：　＋2dBV

● ヘッドホン接続時

最大出力：　15mW + 15mW（32Ωヘッドホン接続時）

第23章　仕様

オーディオ性能

- 周波数特性（LINE IN → Ω/LINE OUT）：　20Hz〜2-kHz, ＋1/－3dB
- 歪率（LINE IN → Ω/LINE OUT）：　0.03%以下
- S/N比（LINE IN → Ω/LINE OUT）：　90dB以上

一般

- 対応オーディオファイル：

・MP3ファイル：　32kbps〜320kbps、サンプリング周波数44.1kHz／48kHz、VBR再生対応、Ver〜2.4のID3TAGをサポート

・WAVファイル：　サンプリング周波数44.1kHz／48kHz、ビット長：16／24ビット

・記録媒体：　SDカード（64Mバイト〜2Gバイト）およびSDHCカード（4Gバイト〜32Gバイト）

・ファイルシステム：　FAT16/32

・付属（および別売）リチウムイオン電池：　3.7V 1800mAh

・バッテリー動作時間（内蔵マイク、MP3録音時）：　約7時間（使用状況により変動することがあります。）

・消費電力：　1 W（MP3再生時）

・寸法：　70.0（幅）× 27.0（高さ）×135.3（奥行） mm （突起部含まず）

・質量：　208 g（リチウムイオン電池を含む）

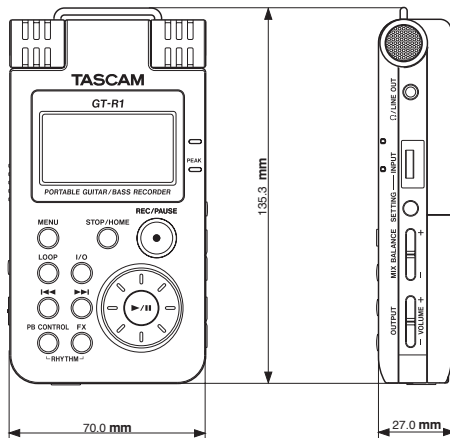
別売アクセサリー

● ACアダプター（PS-P520）
● リチウムイオン電池（BP-L2）
● アクセサリーキット（三脚、三脚アダプター、マイクスタンドアダプタ、ウインドスクリーン）

接続するパソコンの条件

● Windowsマシン：
・ Pentium 300MHz以上
・ 128MB以上のMemory
・ USBポート（推奨：USB2.0、必須条件：500mA Bus Power対応）
● Macintoshマシン：
・ Power PC、iMac、G3、G4　266MHz以上
・ 64MB以上のMemory
・ USBポート（推奨：USB2.0、必須条件：500mA Bus Power対応）
● 推奨USBホストコントローラー：
・ Intel製チップセット
● サポートOS：
・ Windows Windows 2000 、XP 、Vista
・ Macintosh Mac OS 10.2以上

- SDロゴは商標です。
- WindowsおよびWindows XP、Vistaはマイクロソフト社の登録商標または商標です。
- Macintosh、MacOS、MacOS Xはアップル社の登録商標または商標です。
- その他このマニュアルに記載されている社名・商品名およびロゴマークは、一般に各社の登録商標または商標です。

寸法図

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00〜12:00 / 13:00〜17:00です。

タスカム営業技術　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

® **0120-152-854**

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター　〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は，予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社
〒206-8530
東京都多摩市落合1-47
http://www.tascam.jp/

Printed in China